

# 令和4年度 佐呂間町教育の概要



佐呂間中学校運動会

## 佐呂間町教育委員会

## 目 次

佐呂間町の概要	1
佐呂間町教育目標	2
学校教育目標	3
佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）	4
学 校 教 育	
学 校 概 要	
佐呂間小学校	9
若佐小学校	11
浜佐呂間小学校	13
佐呂間中学校	15
佐呂間高等学校	17
学校教育団体	19
統廃合の沿革	20
社 会 教 育	
社会教育目標	25
社会教育関係事業	27
社会教育団体	35
教 育 予 算	37
教 育 施 設	
施設の概要	38
施設の利用状況	40
教育関係委員名簿	41
佐呂間町教育委員会事務局の機構	42

## 佐 呂 間 町 の 概 要

### ■ 沿 革

佐呂間町は、1894年(明治27年)、鈴木甚五郎が青森県から入植し浜佐呂間に定住したことにより歴史の1ページが始まった。その後、本州各地から農漁業を営む入植者が次々と来住、本町を開拓してきた。そして農林漁業を基幹産業とし、また、サロマ湖を中心に観光地として発展を遂げ、1994年(平成6年)に開基100年を迎えた。

### ■ 町名の起源

町名は、アイヌ語の「サロ・オマ・ペット(葦のあるところの川)」と「サラ・オマ(葦のあるところの沼)」が起源とされており、それが転じて「サロマ」となり、1915年(大正4年)に「佐呂間」と和文転用された。

### ■ 位置と面積

オホーツク管内のほぼ中央部に位置し、北見市、湧別町、遠軽町と隣接しており、北方一帯はサロマ湖に面している。総面積は、404.99平方キロメートルを有している。

### ■ 地 勢

佐呂間町は、大雪山系の山々を背景に、東西が細長く、北方は丘陵地帯を形成し、またその一帯は海に面している。町の中央を流れる佐呂間別川はサロマ湖へと注ぎ、流域一帯には肥沃な大地が広がっている。

### ■ 町 章

佐呂間町のカナ文字を「サ」が「ロ」と「マ」を囲むように図案化したものである。横棒が、全町を固く結んだ町民の心、一致団結、共存共栄、円満な理想郷を表している。



(昭和28年4月1日制定)

### ■ 人 口

各年9月末日現在

年	世帯数	総数	男	女
平成22年	2,486	5,914	2,829	3,085
平成23年	2,485	5,831	2,784	3,047
平成24年	2,461	5,725	2,739	2,986
平成25年	2,562	5,770	2,698	3,072
平成26年	2,556	5,655	2,638	3,017
平成27年	2,543	5,547	2,607	2,940
平成28年	2,495	5,387	2,538	2,849
平成29年	2,476	5,291	2,484	2,807
平成30年	2,499	5,237	2,451	2,786
令和元年	2,511	5,150	2,422	2,728
令和2年	2,461	5,015	2,367	2,648
令和3年	2,397	4,873	2,304	2,569

# 佐呂間町教育目標

森と湖の大自然に育まれた私たち町民は「英知と友愛と勇氣」をもって、明るく豊かなまちづくりを目指し、活力ある人間性豊かなたくましい人になるため、この教育目標を制定します。

みづか まな  
自 ら 学 び

と も に 磨 き 合 い

ひろ こころ  
広 い 心 と

い  
生 き が い を も ち

ふ る さ と を 愛 す る

た く ま し い サ ロ マ 人 <sup>びと</sup>

(平成7年1月1日制定)

## ■ 解 説

佐呂間町は、開拓以来、心豊かな人づくりを目指し、明るく平和な町づくりの創造に、英知と友愛と勇氣をもって励んできました。

これからは、新しい時代に向けて、創造的に富む知性豊かな人になるために自ら学ぶ姿勢をもち、考え、行動することが求められます。

また、自然や文化に親しみ、美しさや優しい心など、豊かな情操を培うとともに、広い心で人々と交流し、ともに磨き合い、ふるさとの発展に努めることが必要です。

さらに、町民としての責任と誇りを自覚し、自然の豊かさと調和した産業と文化の町づくりを目指して、ふるさとの発展に励むことが大切です。

そして強い意志をもって、心身を鍛え、明るくたくましく生きるために、生命を尊びふるさとの自然や特性を生かして、積極的に行動する事が望まれています。

ふるさとの21世紀を展望するとき、生涯を通じて学ぶ意欲をもち、町民一人一人が主役となり、生きがいのある生活を築く、「たくましいサロマ人」になることが期待されます。

## ■ 基本的指標

- 【知】
  - ・自ら学び、創造的に実践する人に
  - ・広い考えで、時代の変化にたくましく対応する人に
  - ・生涯学び続け、生きがいのある人生を築く人に
- 【情】
  - ・自然を愛し、思いやりのある心をもつ人に
  - ・郷土の文化を大切に、豊かな社会をつくる人に
  - ・広い心で、国際社会のためにつくす人に
- 【意】
  - ・責任をもち、自ら進んでやりぬく人に
  - ・勤労に喜びをもち、よりよい生活をする人に
  - ・町民としての誇りをもち、地域の発展に努める人に
- 【体】
  - ・健康安全に心がけ、進んで心身を鍛える人に
  - ・スポーツに親しみ、活力ある生活をする人に
  - ・生命を尊重し、うるおいのある生き方をする人に

# 学 校 教 育

## 学校教育目標

～自ら未来をきり拓き、たくましく生きるために～

- 自ら学び 創造力のある人に
- 郷土を愛し 豊かな心をもつ人に
- 進んで働き 最後までやりぬく人に
- 生命を尊び 明るくたくましい人に

(平成7年4月1日改定)

### ■ 解 説

佐呂間町は、森と湖のまちに相応しい文化の創造のため、多くの困難を乗り越え、開基100年の輝かしい歴史と伝統を築いてきました。この先人の魂を正しく継承し、21世紀を担う子ども達が調和のある発達を期すための目標であります。そして、限りない未来を拓く子どもの心身ともに健全な成長を願い「自ら考え、正しく判断できる人間性豊かなたくましい子ども」の育成を目指しています。

#### ○自ら学び、創造力のある人に

生涯にわたって学び、創造力のある人になるためには、自ら学ぶ意欲や態度を培い基礎的・基本的内容をしっかり身につけることが大切です。

そして、個性を生かしながら思考力・判断力・表現力や情報処理能力など、生きて働く力を培い、時代の変化に対応する積極的な態度や能力を育成することが重要です。

#### ○郷土を愛し、豊かな心をもつ人に

ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を持つ人になるためには、自然に親しみ、人間尊重の精神や感謝の心を培い、積極的に行動する態度を身につけることが大切です。

そして、広い心と温かい人間性を育て、互いに協力し合い、励まし合って郷土のために尽くす態度や国際社会に適応する能力を育成することが重要です。

#### ○進んで働き、最後までやりぬく人に

仕事に励み、強い意志と実力を持ち、個性豊かな人になるためには自ら考え行動し、自発的に課題を解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、積極的に体験する中で、ものごとを深く探求する心を培い、自分の良さを生かしながら、最後まで根強くやりぬく力を育成することが重要です。

#### ○生命を尊び、明るくたくましい人に

生命を大切にし、自ら心や体を鍛え、明るく生きる人になるためには、日常的に健康安全に努め、心身を磨き、自ら解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、家庭や地域との連携を密にし、生涯にわたって自ら実践するとともに、環境や社会の変化に対応できる態度や能力育成することが重要です。

## 佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）

世の中は人工知能や、IoT等の技術革新によるSociety5.0時代の到来など、グローバル化の進展に伴う産業構造の変化や少子高齢化に伴う就学・就業構造の変化などと相まって、現代の子どもたちを取り巻く環境が大きく変化してきています。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響などにより、先行き不透明で予測が極めて困難な状況が続く中、子どもたちが自分の良さや可能性を肯定し、他者と協働しながら社会の荒波を克服し、持続可能な社会の創り手となり、豊かで楽しい人生を送ることができるように、その資質・能力を育成することが求められています。

佐呂間町教育委員会では、国の第3期教育振興基本計画や北海道教育推進計画並びにオホーツク教育推進の重点、佐呂間町教育大綱に基づき、学校・地域・家庭との連携を密に、子どもたちの育成に必要な様々な取り組みに努めてまいります。

社会教育においては、社会教育の指針である第8次佐呂間町社会教育中期計画を推進し、新しい時代の社会教育に向けて、幼年期から高齢期まで幅広い世代や領域に応じた事業の実施、高度化・多様化・個別化する学習ニーズに応じた支援や的確な情報提供に努めてまいります。

こうした考えの下、令和4年度教育行政推進にあたり、佐呂間町教育目標『自ら学び ともに磨きあい 広い心と 生きがいをもち ふるさとを愛する たくましいサロマ人』を目指し、本町の豊かな自然や歴史、文化を踏まえた地域の特性を活かし、保育所及び小中高各学校間の連携協力、地域・家庭との連携を密に、子どもたちの「生きる力」に必要な「知・徳・体」の育成など次の3点を重点とし佐呂間町教育行政を進めてまいります。

一、未来を担う子どもたちの学びの育成と豊かな人間性を育む教育の推進

一、生活に潤いや生きがいをもたらす文化活動や健康で充実した生活を目指すスポーツ活動の推進

一、誰もが生涯にわたり積極的に学び、その成果を活かせる生涯学習活動の推進

以下、各項目にわたりご説明申し上げます。

### ◎学校教育の推進

#### 1. 確かな学力の育成

社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来と新型コロナウイルス感染拡大など、先行き不透明な「予測困難な時代」が重なり、そのような時のなかでも子どもたちへの「学びの保障」を行うため、感染防止対策と学校教育活動を止めることなく両立させることが重要であり、一人ひとりの児童生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となり、豊かで楽しい人生を送ることができるようにする必要があります。

子どもたちの確かな学力を育むために、「知・徳・体」を一体とした教育方針のもと、新学習指導要領に基づく学習を着実に実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「基礎・基本的な知識・技能」を習得させ、「柔軟な思考力」、「正しい判断力」、「豊かな表現力」が培われるように、また、子どもたちが進んで自分の学習を計画し、「粘り強く学習に取り組む態度」を育成できるように、教員は子ども一人ひとりの特性や学習進度・到達度などに応じ、指導方法・教材の提供など「個に応じた指導・個別最適な学びと協働的な学び」の充実が大切になってきます。

佐呂間町の子どもたちを成長させるために、本年度の教育行政の主な施策として、家庭学習の習慣化を促すために小学生を対象とした土曜日の午前集って学習を行うサタディ・スタディの実施、長期休業中の学習サポート、日本漢字能力検定・実用英語技能検定、実用数学技能検定に対する費用助成と中学生を対象とした基礎的読解力を把握するためのリーディングスキルテストの実施と個別指導のためのテスト結果の活用など、効果的な取り組みに努めてまいります。

また、子どもたちを育てていく上で学校は学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担っており、学校長が先頭となり学校としての組織力向上を目指し、児童生徒の状況を総合的に把握し、役割分担で効果的な指導力を発揮するため、学校教育指導を行う教育局への指導主事派遣要請や教員の各種研修会への参加奨励を行い、それぞれの教員がその専門性を発揮して、より実践的な指導が行われるよう学校教育の基盤整備を推進してまいります。



さらに、佐呂間小学校では、道費での算数専科教員の配置と5年生を少人数学級編成にするとともに、若佐小学校では複式授業の解消を図るため、町単独の教員を採用することとし、英語教育では、本年度においてもALTを派遣し、海外への関心とグローバル的視野、外国語のコミュニケーション能力を養い、複式学級の若佐小学校、浜佐呂間小学校へは英語教育の充実を図るため、引き続き英語授業補助員を採用し、円滑な授業実施に努めてまいります。

また、中学校においても町単独教員と学習支援員を配置し、より充実した教育環境となるように努めてまいります。

## 2. ICT教育の推進

GIGAスクール構想における一人1台タブレット端末等が導入され、個別のタブレット端末をはじめ、プロジェクター、電子黒板、実物投影機、校内無線LAN、光回線の整備などのICT機器整備により、学校の授業環境は大きく変化しておりますが、今後も教育の情報化・デジタル化は更に進んでいくものと思われまます。

本町のICT教育においても周囲に取り残されることなく推進していくためには、教員の重荷とならないようにICT研修を充実させ、ICT機器を“使ってみる”から“活用してみる”に発展させる必要があります。

ICT教育推進の主な施策として、学校でのGIGAスクール構想事業を支援する端末運用保守業務委託の実施、英語をはじめ、国語、算数・数学のデジタル教科書の試行と全科目の問題集や学習コンテンツが揃ったe-ライブラリアドバンスの効果的な活用、社会科副読本「さるま」デジタル版の作成、交流アプリケーションを活用した町内小学校間のWEB交流、又は、経済交流都市の宮崎県都農町の小学校とのWEB交流、児童生徒・保護者も含めたインターネット利用における情報モラル教育、ネットリテラシーの推進が重要であります。

また、コロナ禍において、臨時休校や自宅待機期間が数日に及ぶ場合でも学習を止めることなく保障することが大切です。

そのためには、ご家庭に協力いただきながら、子どもたち自らがタブレット端末を家に持ち帰り、学習ができる機会を増やしていくことが必要です。

## 3. 特別支援教育の充実

本年度においてもすべての学校に特別支援学級が設置されることから、個別の指導計画に基づく、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行うこととしております。

また、特別に支援を要する児童生徒のため特別支援員を全学校に配置し、児童生徒個々に応じたきめ細やかな支援を行うことにより、その持てる力を高め自立や社会参加に向けた指導を行ってまいります。

佐呂間小学校のことばの教室においては、発音などの一部言語発達に遅滞を有する児童のために一人ひとりに応じた支援に努めてまいります。

## 4. 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

子どもたちが自らを律しつつ、自己を確立し、他人を思いやる心や感動する心をもつ豊かな人間性を備えた人として育ち、自分らしく主体的に生きていくことは、社会全体の願いであります。

子どもたちの心は未熟で不安定な成長段階にあり、自制心や規範意識の希薄化と児童生徒が関わりを持つ多様な環境と人間関係などの要因により様々な問題が発生しております。

道徳教育において、子どもたちの発達段階に応じた課題やその背景を視野に入れ、子どもたちが夢や希望を持って未来を切り拓き、人間としてより良く生きようとする力が育成されるよう指導の一層の充実を図るとともに、子どもたちが人権尊重の理念についての正しい理解や実践する態度を身に付けるよう、日常の挨拶励行や人間と生命の価値を自覚し尊重すること、人と調和して共に生きること、人の痛みや思いに共感することなど、心に響く道徳教育を実践し、学校教育活動全般の中でも様々な物事と関連付けながら指導を行ってまいります。

また、いじめ・暴力行為・不登校等の問題についても、子どもたちの些細な変化を見逃さないよう、家庭・学校・地域・教育委員会が連携を密にし、問題行動等の早期発見と未然防止、心のケアを行うとともに専門的知識を有するスクール・カウンセラーや教育相談員による相談・支援体制の充実を図ってまいります。

## 5. 心身の健やかな成長を促す教育の推進

体力の向上は、心と体を一体としてとらえ、運動についての理解と合理的な実践を通して、子どもたちの将来においても運動に親しむ資質や能力、継続性を育てるとともに、明るく楽しい豊かな生活を営むためにも極めて重要な要素となるものであります。

引き続き佐呂間小学校において、体育専科教員を配置し、児童皆が運動の大切さや楽しさを実感し、運動を通じてのルールの学びとコミュニケーション能力を養い、その取組の成果と検証を家庭や地域等で情報を共有し、子どもたちの体力と運動能力の向上に努めてまいります。

学校給食については、子どもたちが健康で豊かな生活を送る上で源となる非常に重要な要素となるものであり、栄養の提供は「おいしく安全安心な学校給食」をモットーに、できる限り地場産物を活用するため、生産者・流通販売者との対話を大切にし、「佐呂間町ふるさと給食」として、地域と共にある学校給食を目指してまいります。

また、学校給食における食物アレルギーの対応については、「食物アレルギー対応の手引き（文部科学省）」により、医師の診断に基づくアレルギー対応食を提供するとともに、子どもたちの食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができるように栄養教諭による食育の推進に努めてまいります。

給食費につきましては、引き続き無償化とし、子育て支援を図ってまいります。

近年、インターネット社会において、子どもたちの生活スタイルも変化しており、スマートフォンやタブレットを使用し、生活時間の多くをゲームやSNSに費やしている現状が「学力・学習状況調査 児童生徒質問紙」から分析されております。

インターネットを通じてのトラブル、SNSでの誹謗中傷やいじめ問題発生状況を踏まえ、利用のルールやモラル教育の充実を図るとともに学校や家庭と連携して生活習慣の改善に努めてまいります。

## 6. 信頼される学校づくりの推進

地域に開かれ信頼される学校を実現するため、学校には保護者や地域住民の意見や要望に耳を傾け、家庭や地域社会と連携協力していくことが求められております。

そのため、保護者・児童生徒・教職員による学校評価アンケートを活用し、その結果を保護者や地域住民に公表し学校経営の改善に活かすとともに、全校で導入しているコミュニティ・スクールにより、保護者や地域住民が参画しやすい地域に開かれた学校づくり、社会に開かれた教育課程の推進に努めてまいります。

また、教職員の働き方について、学校の共通課題として捉え、学校長がリーダーシップを発揮し、学校経営の質を向上させ、かつ、業務の改善と効率化を学校全体で工夫し取り組んでまいります。

児童生徒の通学における安全対策については、学校における通学路の点検をはじめ、危険箇所などが発見された場合の関係機関との共同点検、スクールバス乗降車時の安全確認などを行うとともに、一昨年策定した「佐呂間町交通安全プログラム」の見直しも行ってまいります。

今後も、小学校と中学校の学校間の連携に加え、保育所、高等学校とも連携を深め、連続した教育の推進を目指し、就学時と小中学校の円滑な接続、中1ギャップの解消のための町内小学6年生の交流学習、中高の交流と連携の推進に努めてまいります。

## 7. 佐呂間高等学校支援対策

高等学校教育は、義務教育で培った知識や教養をさらに深め、社会に必要とされる人材の育成に大きな役割を担っております。

佐呂間高等学校は、町内唯一の高等学校であり、地域の教育機能を確保するため、地域連携特例校として小規模でありながら地域の特性を活かしたきめ細かな指導を実践しておりますが、近年の少子化や地元高校への進学者の減少により、令和2年度の入学者数が12名となるなど、佐呂間高等学校の存続が危機的な状況であることから、佐呂間高等学校支援対策である、「模擬試験・資格取得検定受験料の補助」、「部活動遠征費補助」、「体育文化活動費補助」、「姉妹校交流派遣事業」などに加えて、昨年度より新たな支援対策として、佐呂間高等学校卒業後に大学などへ進学する学生に対して、大学は年額50万円、短大・専門学校は年額25万円の経済的支援を行う「佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金制度」、佐呂間高等学校へ入学する生徒に対して入学後の必要経費として一人一律10万円を支給する「佐呂間高等学校入学者給付金制度」、佐呂間高等学校卒業後、就職等への準備資金として一人一律10万円を支給する「佐呂間高等学校卒業生就職等応援給付金制度」、「佐呂間高等学校在校生への教科書無償提供事業」、更に「学習用タブレット端末購入費補助事業」の5つの施策を講じることとし、一人でも多くの生徒が佐呂間高等学校へ進学を希望するよう、佐呂間高等学校存続対策協議会においても各関係者の皆様と協議を重ねてまいります。

また、佐呂間高校生の地域魅力発見事業として、昨年度から佐呂間高校生フォトコンテストを実施し、高校生から見た佐呂間町の何気ない日常・風景を魅力として発見、再認識することにより、「まちづくり」につながるヒントを考えていく事業を本年度も実施してまいります。



## ◎社会教育の推進

### 1. 社会教育の推進

社会教育活動は、生涯学習社会を形成するための人づくりであり、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しく学ぶことができ、地域住民同士が学び合い、教えあう相互学習などを通じて、人と人が強い絆で結ばれた地域づくりを目指すものであります。

佐呂間町社会教育目標『人々を 地域を 夢を育む サロマの未来』を基底とする第8次佐呂間町社会教育中期計画を基礎に、町民の自発的・主体的な学習に対する支援や、多様化・高度化・個別化する学習ニーズに応え、乳幼児から高齢者まで世代に応じた幅広い事業展開や、豊かな人間性を培うため交流活動への参加、体験機会の充実に努めてまいります。

なお、学校・家庭・地域が深く結びついた学校教育と連携した社会教育事業の展開も図ってまいります。

芸術文化活動の推進については、佐呂間町芸術文化事業補助要綱に基づいた助成制度の利用促進を図り、町民の主体的な活動に支援してまいります。また、町主催の文化講演会を開催し新たな学びの機会を提供します。芸術鑑賞事業や発表機会の充実、町内外の情報提供についても引き続き努めてまいります。

### 2. 図書館事業の推進

図書館は、町民の読書や生涯学習を支援する拠点施設として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代が求めているもの、社会の動向に応じた資料の収集やサービスの提供を心がけています。

情報が多様化し、社会情勢が目まぐるしく変化する中、第8次佐呂間町社会教育中期計画や第2次佐呂間町子どもの読書活動推進計画を基に、本年度も本に親しむ環境づくりのため、乳幼児を対象としたブックスタート及びセカンドブック事業、絵本の読み聞かせ、成人式に本を贈る20歳の20冊事業など引き続き実施いたします。

また、移動図書館車あおぞら号による学校や地域への巡回、団体等への定期的な貸出、学校とは学校図書室への訪問を行うなど、連携を深めながら読書活動の推進を図ってまいります。

図書館では、図書除菌器の導入や返却された本の消毒を行うなど衛生管理に配慮しながら、月替わりの特集展示や新着本コーナーを設置するなど、安心して利用しやすい図書館を目指してまいります。

このほか、図書館だよりや新着情報の発行、夢つうしんやホームページなどで図書館情報を広く提供するとともに、町民の暮らしや活動への支援を継続し、図書館サービスの充実に努めてまいります。

### 3. 社会体育の推進

スポーツ活動は、健康保持や体力増強はもとより、仲間の輪が広がり、楽しみ、生きがいを得て、豊かな生活をもたらします。

スポーツを通じて、心と体が鍛えられるとともに、幅広い人間関係が形成され、豊かな地域社会を築くことにもつながります。

そのために、町技であるソフトボールはもちろんのこと、各種スポーツ活動の支援や環境の整備に努め、「生涯スポーツの町宣言」に沿ったスポーツの振興を図ってまいります。

また、社会体育の中核施設である武道館・温水プールについては、指導の充実に図り、町民の体力・健康づくりの場として、様々な事業に取り組んでまいります。

## ◎教育関係施設の整備について

教育関係施設の整備については、令和3年度からスタートした第5期佐呂間町総合計画を基本として、限られた財源を効果的に活用しながら、将来を見据えた施設の維持補修計画である、「佐呂間町学校施設長寿命化計画」並びに「佐呂間町社会教育施設長寿命化計画」に基づき、より長く有効活用できる施設整備を進めるとともに、本年度は、主に次のような事業に取り組んでまいります。

○若佐小学校改修工事

○若佐小学校照明LED取替工事

○各学校職員室エアコン設置工事

○学校グラウンド整備事業

○佐呂間町町民センター舞台装置改修工事

- パークゴルフ場等芝生整備工事
- 総合グラウンド施設整備工事（野球場道具庫解体・設置）
- サロマテニスコート樹木伐採工事
- 武道館・温水プール更衣室トイレ改修工事
- トレーニングルームエアコン更新工事
- 学校給食センター設備更新工事（冷凍冷蔵設備、照明設備）


佐 呂 間 小 学 校				校			
所 在 地	常呂郡佐呂間町字幸町1番地の1			章			
創 立 年 月 日	平成18年 4月 1日						
沿 革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により旧佐呂間小・知来小・仁倉小・若里小・富武士小が、新「佐呂間小学校」として開設される					
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始					
	平成21年 4月	二学期制実施					
	平成25年 4月	言語障害通級指導教室（ことばの教室）開設					
教 職 員 等	校 長	二 神 孝 久		教 諭	幸 松 寛	専 科	
	教 頭	辻 和 彦		教 諭	齋 藤 潤	専 科	
	教 諭	埜 村 望	1 年	教 諭	吉 田 康 祐	専 科	
	教 諭	尾 関 由 未 奈	2 年	養 護 教 諭	佐 藤 和 美		
	教 諭	古 間 木 由 貴 子	3 年	栄 養 教 諭	大 城 愛 梨		
	教 諭	両 川 明 博	4 年	事 務 職 員	津 田 得 夢		
	教 諭	長 尾 朋 章	5年1組	公 務 補	富 田 正 之		
	教 諭	畠 山 泰 彦	5年2組	特 別 支 援 員	宮 崎 美 知 子		
	教 諭	河 合 建 弥	6 年	特 別 支 援 員	津 村 接 美		
	教 諭	米 村 麻 美	学習支援室	特 別 支 援 員	本 田 ま ゆ み		
	教 諭	高 松 開	学習支援室	特 別 支 援 員	堀 内 靖 子		
	教 諭	岩 田 治	学習支援室	特 別 支 援 員	阿 部 真 也		
	教 諭	長 谷 川 忍	学習支援室	ス ー プ ー ト ス タ ッ フ	堀 内 靖 子		
	教 諭	近 藤 優 子	学習支援室				
	教 諭	工 藤 学	言語通級				
教 諭	後 藤 理 奈	言語通級					
児 童 数	学 年	児 童 数	学 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数	
	1 年	13	1	5 年	34	2	
	2 年	15	1	6 年	28	1	
	3 年	18	1	特 別 支 援	11	5	
	4 年	18	1	合 計	137	12	
学 校 運 営 協 議 会	山 保 浩 之	石 川 勝 義	三 田 真 美	高 橋 紀 久			
	船 木 英 理 子	二 神 孝 久	辻 和 彦				
P T A	会 長	石 川 勝 義		事 務 局	辻 和 彦 (教頭)		
	副 会 長	岩 本 祐 喜		会 計	工 藤 恵		
	副 会 長	杉 山 友 洋		会 計	津 田 得 夢 (事務職員)		
	事 務 局 長	五 十 嵐 正 人					

<p>教育目標</p>	<p>わたしたちは、 ふるさとの 大地に立つ 伸びゆく サロマの子です。 ・すすんで まなぶ子 ・たすけあう やさしい子 ・げんきで たくましい子</p>																																																																																																																																				
<p>重点目標</p>	<p>自己肯定感の育成 ～「わかる」「できる」の積み重ね～</p>																																																																																																																																				
<p>研究主題</p>	<p>主体的に学び、高め合う子どもの育成 ～学ぶ力を育てる授業づくりを通して～</p>																																																																																																																																				
<p>基本的な日課</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:10</td> <td>登校</td> <td>登校</td> <td>登校</td> <td>登校</td> <td>登校</td> </tr> <tr> <td>8:20</td> <td>職員朝会 全校朝会</td> <td>職員朝会 学習準備</td> <td>職員朝会 学習準備</td> <td>職員朝会 学習準備</td> <td>職員朝会 学習準備</td> </tr> <tr> <td>8:25</td> <td></td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> </tr> <tr> <td>8:30</td> <td>学級朝の会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8:35</td> <td></td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> </tr> <tr> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> </tr> <tr> <td>9:20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9:25</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> </tr> <tr> <td>10:10</td> <td>自由遊び 業間活動</td> <td>自由遊び 業間活動</td> <td>自由遊び 業間活動</td> <td>自由遊び 業間活動</td> <td>自由遊び 業間活動</td> </tr> <tr> <td>10:30</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> </tr> <tr> <td>11:15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11:20</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> </tr> <tr> <td>12:05</td> <td>給食</td> <td>給食</td> <td>給食</td> <td>給食</td> <td>給食</td> </tr> <tr> <td>12:45</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> </tr> <tr> <td>13:05</td> <td>清掃</td> <td>清掃</td> <td>清掃</td> <td>清掃</td> <td>清掃</td> </tr> <tr> <td>13:25</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> </tr> <tr> <td>14:10</td> <td>学級帰りの会</td> <td>学級帰りの会</td> <td>学級帰りの会</td> <td>学級帰りの会</td> <td>移動(帰りの会)</td> </tr> <tr> <td>14:15</td> <td>6時間目</td> <td>6時間目</td> <td></td> <td>6時間目</td> <td>14:25</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>学級帰りの会</td> <td>学級帰りの会</td> <td></td> <td>学級帰りの会</td> <td>クラブ活動 児童委員会</td> </tr> <tr> <td>15:15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15:10</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	8:10	登校	登校	登校	登校	登校	8:20	職員朝会 全校朝会	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	8:25		朝学習	朝学習	朝学習	朝学習	8:30	学級朝の会					8:35		学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	9:20						9:25	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	10:10	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	10:30	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	11:15						11:20	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	12:05	給食	給食	給食	給食	給食	12:45	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	13:05	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	13:25	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	14:10	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	移動(帰りの会)	14:15	6時間目	6時間目		6時間目	14:25	15:00	学級帰りの会	学級帰りの会		学級帰りの会	クラブ活動 児童委員会	15:15					15:10	15:30	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校
	月	火	水	木	金																																																																																																																																
8:10	登校	登校	登校	登校	登校																																																																																																																																
8:20	職員朝会 全校朝会	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備	職員朝会 学習準備																																																																																																																																
8:25		朝学習	朝学習	朝学習	朝学習																																																																																																																																
8:30	学級朝の会																																																																																																																																				
8:35		学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会																																																																																																																																
1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目																																																																																																																																
9:20																																																																																																																																					
9:25	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目																																																																																																																																
10:10	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動																																																																																																																																
10:30	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目																																																																																																																																
11:15																																																																																																																																					
11:20	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目																																																																																																																																
12:05	給食	給食	給食	給食	給食																																																																																																																																
12:45	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み																																																																																																																																
13:05	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃																																																																																																																																
13:25	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目																																																																																																																																
14:10	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	移動(帰りの会)																																																																																																																																
14:15	6時間目	6時間目		6時間目	14:25																																																																																																																																
15:00	学級帰りの会	学級帰りの会		学級帰りの会	クラブ活動 児童委員会																																																																																																																																
15:15					15:10																																																																																																																																
15:30	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校																																																																																																																																
<p>校歌</p>	<p>佐呂間小学校校歌 作詞 作曲 松田 彰光</p> <p>一 朝は輝く 光を浴びて 希望を胸に 通う路 声かけ合って 手を結び みんなで創ろう 佐呂間小</p> <p>二 花も草木も 小鳥の声も みんなやさしく 包み合う 自然の息吹 受けとめて みんなで歩もう 佐呂間小</p> <p>三 汐の香匂う 佐呂間の湖に 大きな夢を 語りつつ 育つ心を 大切に みんなで学ぼう 佐呂間小</p>																																																																																																																																				

若 佐 小 学 校				校			
所 在 地	常呂郡佐呂間町字中園38番地の1			章			
創 立 年 月 日	平成18年 4月 1日						
沿 革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により、旧栄小学校と若佐小学校が、新「若佐小学校」として開設される					
	平成18年 4月 6日	開校式 校旗・校章制定					
	平成18年 7月27日	旧若佐中学校校舎へ移転					
	平成18年 8月21日	校門除幕式					
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始					
	平成21年 4月	二学期制実施					
教 職 員 等	校 長	菅 原 正 弘		養護教諭	佐久間梨緒		
	教 頭	日 村 航		事務職員	鎌土 卓美		
	教 諭	吉村 恵理子	1・2年	公務補	本間 篤史		
	教 諭	落合 真奈美	自情学級	特別支援員	村山 知佐		
	教 諭	和田 信彦	3・4年	時間講師	村井 栄子		
	教 諭	橋場 哉子	知的学級				
	教 諭	清水 政臣	5・6年				
児 学 童 級 数 数	学 年	児童数	学級数	学 年	児童数	学級数	
	1 年	3	1	5 年	5	1	
	2 年	4		6 年	4		
	3 年	8	1	特別支援	3	2	
	4 年	7		合計	34	5	
学 校 運 営 協 議 会 委 員	佐々木 孝三郎	鈴木 邦彦	渡部 洋	田宮 英明			
	長澤 耕之輔	安藤 誠司	菅原 正弘	日村 航			
P T A	会 長	長澤 耕之輔		会 計	今部 美香		
	副 会 長	山前 和久		会 計	鎌土 卓美		
	副 会 長	谷口 元気		事務局長	日村 航		
	副 会 長	佐伯 雪江					

教育目標	<input type="checkbox"/> 考える子 …………… (知) 【本気】 ・自ら学び、創り出す <input type="checkbox"/> 助け合う子 …………… (徳) 【勇氣】 ・自他の立場を考え、協力する <input type="checkbox"/> 強い体の子 …………… (体) 【根気】 ・心身ともに健康でたくましく最後までやりぬく																																																												
重点目標	『伝え合い、話し合い、つくり合おう』																																																												
研究主題	自ら学び共に高めあう子どもの育成 ～「コミュニケーション能力の向上」を目指した授業構成～																																																												
基本的な日課	<table border="0"> <tr><td>児童登校</td><td>7:30</td><td>～</td><td>8:05</td></tr> <tr><td>朝の活動</td><td>8:05</td><td>～</td><td>8:25</td></tr> <tr><td>朝の会</td><td>8:25</td><td>～</td><td>8:35</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:35</td><td>～</td><td>9:20</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:25</td><td>～</td><td>10:10</td></tr> <tr><td>中休み</td><td>10:10</td><td>～</td><td>10:25</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:30</td><td>～</td><td>11:15</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:20</td><td>～</td><td>12:05</td></tr> <tr><td>昼食</td><td>12:05</td><td>～</td><td>12:50</td></tr> <tr><td>昼休み</td><td>12:50</td><td>～</td><td>13:05</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>13:10</td><td>～</td><td>13:25</td></tr> <tr><td>5校時</td><td>13:30</td><td>～</td><td>14:15</td></tr> <tr><td>帰りの会</td><td>14:15</td><td>～</td><td>14:25</td></tr> <tr><td>6校時</td><td>14:25</td><td>～</td><td>15:10</td></tr> <tr><td>児童下校</td><td>15:30</td><td></td><td></td></tr> </table>	児童登校	7:30	～	8:05	朝の活動	8:05	～	8:25	朝の会	8:25	～	8:35	1校時	8:35	～	9:20	2校時	9:25	～	10:10	中休み	10:10	～	10:25	3校時	10:30	～	11:15	4校時	11:20	～	12:05	昼食	12:05	～	12:50	昼休み	12:50	～	13:05	清掃	13:10	～	13:25	5校時	13:30	～	14:15	帰りの会	14:15	～	14:25	6校時	14:25	～	15:10	児童下校	15:30		
児童登校	7:30	～	8:05																																																										
朝の活動	8:05	～	8:25																																																										
朝の会	8:25	～	8:35																																																										
1校時	8:35	～	9:20																																																										
2校時	9:25	～	10:10																																																										
中休み	10:10	～	10:25																																																										
3校時	10:30	～	11:15																																																										
4校時	11:20	～	12:05																																																										
昼食	12:05	～	12:50																																																										
昼休み	12:50	～	13:05																																																										
清掃	13:10	～	13:25																																																										
5校時	13:30	～	14:15																																																										
帰りの会	14:15	～	14:25																																																										
6校時	14:25	～	15:10																																																										
児童下校	15:30																																																												
校歌	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top; text-align: right;"> <p>若佐小学校校歌  小林幸男 作詞 大野恒一 作曲</p> </td> </tr> </table>	<p>三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p>	<p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p>	<p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p>	<p>若佐小学校校歌  小林幸男 作詞 大野恒一 作曲</p>																																																								
<p>三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p>	<p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p>	<p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p>	<p>若佐小学校校歌  小林幸男 作詞 大野恒一 作曲</p>																																																										



浜 佐 呂 間 小 学 校				校						
所 在 地	常呂郡佐呂間町字浜佐呂間167番地			章						
創 立 年 月 日	平成18年 4月 1日									
沿 革	平成18年 4月 1日	学校再編成により旧浜佐呂間小学校区、旧幌岩小学校校区を合併し、新「浜佐呂間小学校」として設立								
	平成18年 4月 6日	開校式 校旗・校歌制定4学級 35名								
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始								
	平成21年 4月	二学期制実施								
教 職 員 等	校 長	佐々木 寿彦		養 護 教 諭	林 由美子					
	教 頭	竹 村 文 宏		3, 4年	事 務 職 員	小 野 夏 花				
	教 諭	山 田 純 子		1, 2年	公 務 補	桜 井 茂				
	教 諭	崎 野 麻 美		5, 6年	特 別 支 援 員	神 崎 律 子				
	教 諭	樋 口 誠		特別支援						
児 学 童 級 数 数	学 年	児 童 数	学 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数				
	1 年	1	1	5 年	1	1				
	2 年	3		6 年	3					
	3 年	4	1	特 別 支 援	1	1				
	4 年	1		合 計	14	4				
学 校 運 営 協 議 会	村 岡 竹 雄	齊 藤 浩 明		藤 原 一 成	諸 岡 篤 史					
	井 上 誠	堀 米 拓 也		佐々木 寿彦	竹 村 文 宏					
P T A	会 長	若 狭 和 記		文 化 部 長	矢 島 大 樹					
	副 会 長	齊 藤 直 哉		事 務 局 長	竹 村 文 宏					
	副 会 長	諸 岡 篤 史		会 計	小 野 夏 花					
	生 活 部 長	井 上 誠								

<p>教 育 目 標</p>	<p>明日の郷土<small>ふるさと</small>を拓<small>ひら</small>くたくましい子ども  学ぶ子  心豊かな子  健やかな子</p>																																													
<p>重 点 目 標</p>	<p>『わかるまで学び、心豊かに、たくましくやりぬく子の育成』</p>																																													
<p>研 究 主 題</p>	<p>学ぶ喜びや楽しさを感じ、主体的に取り組む子どもの育成  ～子どもが自力で考え表現していく活動を目指して～</p>																																													
<p>基本的な日課</p>	<table border="0"> <tr><td>職員出勤</td><td>8 : 0 0</td><td></td></tr> <tr><td>職員朝会</td><td>8 : 0 5</td><td>～ 8 : 1 5</td></tr> <tr><td>児童登校</td><td>8 : 1 5</td><td></td></tr> <tr><td>朝 学 習</td><td>8 : 1 5</td><td>～ 8 : 2 5</td></tr> <tr><td>朝 の 会</td><td>8 : 2 5</td><td>～ 8 : 3 5</td></tr> <tr><td>1 校 時</td><td>8 : 3 5</td><td>～ 9 : 2 0</td></tr> <tr><td>2 校 時</td><td>9 : 2 5</td><td>～ 1 0 : 1 0</td></tr> <tr><td>3 校 時</td><td>1 0 : 3 0</td><td>～ 1 1 : 1 5</td></tr> <tr><td>4 校 時</td><td>1 1 : 2 0</td><td>～ 1 2 : 0 5</td></tr> <tr><td>給 食</td><td>1 2 : 0 5</td><td>～ 1 2 : 4 5</td></tr> <tr><td>昼 休 み</td><td>1 2 : 4 5</td><td>～ 1 3 : 0 5</td></tr> <tr><td>縦割り清掃</td><td>1 3 : 0 5</td><td>～ 1 3 : 2 0</td></tr> <tr><td>5 校 時</td><td>1 3 : 2 0</td><td>～ 1 4 : 0 5</td></tr> <tr><td>6 校 時</td><td>1 4 : 1 0</td><td>～ 1 4 : 5 5</td></tr> <tr><td>児童下校</td><td>1 5 : 3 0</td><td></td></tr> </table>	職員出勤	8 : 0 0		職員朝会	8 : 0 5	～ 8 : 1 5	児童登校	8 : 1 5		朝 学 習	8 : 1 5	～ 8 : 2 5	朝 の 会	8 : 2 5	～ 8 : 3 5	1 校 時	8 : 3 5	～ 9 : 2 0	2 校 時	9 : 2 5	～ 1 0 : 1 0	3 校 時	1 0 : 3 0	～ 1 1 : 1 5	4 校 時	1 1 : 2 0	～ 1 2 : 0 5	給 食	1 2 : 0 5	～ 1 2 : 4 5	昼 休 み	1 2 : 4 5	～ 1 3 : 0 5	縦割り清掃	1 3 : 0 5	～ 1 3 : 2 0	5 校 時	1 3 : 2 0	～ 1 4 : 0 5	6 校 時	1 4 : 1 0	～ 1 4 : 5 5	児童下校	1 5 : 3 0	
職員出勤	8 : 0 0																																													
職員朝会	8 : 0 5	～ 8 : 1 5																																												
児童登校	8 : 1 5																																													
朝 学 習	8 : 1 5	～ 8 : 2 5																																												
朝 の 会	8 : 2 5	～ 8 : 3 5																																												
1 校 時	8 : 3 5	～ 9 : 2 0																																												
2 校 時	9 : 2 5	～ 1 0 : 1 0																																												
3 校 時	1 0 : 3 0	～ 1 1 : 1 5																																												
4 校 時	1 1 : 2 0	～ 1 2 : 0 5																																												
給 食	1 2 : 0 5	～ 1 2 : 4 5																																												
昼 休 み	1 2 : 4 5	～ 1 3 : 0 5																																												
縦割り清掃	1 3 : 0 5	～ 1 3 : 2 0																																												
5 校 時	1 3 : 2 0	～ 1 4 : 0 5																																												
6 校 時	1 4 : 1 0	～ 1 4 : 5 5																																												
児童下校	1 5 : 3 0																																													
<p>校 歌</p>	<p style="text-align: right;">浜佐呂間小学校 校歌  作詞・作曲 松田 彰光</p> <p style="text-align: center;">一  木々のざわめき 背に受けて  笑み交わし 集う庭  仲間の絆 伝えつつ  創ろう我等の  浜佐呂間小学校</p> <p style="text-align: center;">二  広き海原 オホーツク  波は奏でる 楽の音を  明日の夢に 羽ばたこう  創ろう我等の  浜佐呂間小学校</p> <p style="text-align: center;">三  夕日に映える サロマ湖は  清き心を 写しだす  尊き知恵を 学びつつ  創ろう我等の  浜佐呂間小学校</p>																																													

佐 呂 間 中 学 校				校			
所 在 地	常呂郡佐呂間町字幸町9番地の1			章			
創 立 年 月 日	昭和22年 5月 1日						
沿 革	昭和22年 5月 1日	佐呂間村立中佐呂間中学校として開校					
	昭和28年 4月 1日	町制施行・字名変更により佐呂間町立佐呂間中学校と改称					
	昭和40年 4月 1日	若里中学校・知来中学校・富富士中学校を統合					
	昭和41年 4月 1日	仁倉中学校を統合					
	平成11年 4月 1日	幌岩中学校を統合					
	平成18年 4月 1日	若佐中学校・浜佐呂間中学校を統合					
教 職 員 等	校 長	齊 藤 修		教 諭	藤村 茶久美	知 的	
	教 頭	石 崎 俊 英		養 護 教 諭	兵 頭 真 紀		
	教 諭	大 浦 泰 廣	1-A担任	事 務 職 員	加 葉 田 克 哉		
	教 諭	藤 田 洋 平	1-副	公 務 補	中 村 宏		
	教 諭	平 馬 裕	2-A担任	学 習 支 援 員	高 山 智 之		
	教 諭	日 笠 竜 一	2-副	特 別 支 援 員	笹 川 里 美	SSS兼任	
	教 諭	谷 口 詩 歩	3-A担任	特 別 支 援 員	安 藤 由 紀 恵		
	教 諭	丸 野 仁 美	3-B担任	特 別 支 援 員	清 水 巖		
	教 諭	佐 々 木 睦 明	3-副	ス ー ル カ ウ ン セ ラ ー	武 智 智 子		
	教 諭	古 舘 遼	3-副	(育休)	ホ ー ラ ン ド 淑 恵		
	教 諭	丹 野 良 子	情 緒	(育休)	小 杉 い お り		
	教 諭	渡 辺 慎 司	情 緒				
生 学 徒 数 数	学 年	生徒数	学級数	部 活 動 の 状 況			
	1 年	36	1	野 球 部			
	2 年	40	1	サ ッ カ ー 部			
	3 年	41	2	男 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部			
	特 別 支 援	5	2	女 子 バ レ ー ボ ー ル 部			
	合 計	122	6	吹 奏 楽 部			
学 校 運 営 協 議 会 委 員	会 長	尾 崎 実		南 保 清 美		関 東 正 浩	
	副 会 長	宮 内 俊 幸		安 藤 由		齊 藤 修	
	委 員	為 広 裕 司		山 前 美 緒		石 崎 俊 英	
P T A	会 長	関 東 正 浩			副 会 長	高 橋 紀 久	
	副 会 長	岸 英 里			事 務 局 長	石 崎 俊 英	

<p>教育目標</p>	<p>ともに磨き合い、たくましく生きる人を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学ぶ生徒（知）</li> <li>・思いやりのある生徒（徳）</li> <li>・たくましい生徒（体）</li> </ul>																												
<p>経営の重点</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 将来の幸せにつながる力の育成 -自ら考え、コミュニケーションをはかる力-</li> <li>2 すべての授業で考える・伝える。ふりかえりや友達の話や説明を聞く機会をつくる。考えをまとめて書く時間をつくる。</li> <li>3 行事で考える・伝える。新しい企画を立てる。生徒の発想を生かす。目的と手段を明確にする。</li> <li>4 部活動で考える・伝える。何が目標か（長期・短期）を考える。約束をつくる。盛り上げるにはどうするか考える。ミーティングを大切にする。</li> <li>5 人間関係で考える・伝える。アサーション的（自分の考えを持ち、周囲に伝えるよう）に行う。本当はどうしたいのか。何が問題なのかを見つめる。</li> <li>6 生徒会で考える・伝える。新しい企画と運営について考える。</li> <li>7 学級で考える・伝える。安心できる学級であるためにどうすればよいか。自分のできることは何か。トラブルを回避するにはどうすればよいか。同意を得るためにはどうすればよいか。みんなで楽しむにはどうすればよいか。自己決定の場面を設ける。</li> <li>8 教師の働きかけを大切にする。 全員が担任という認識と安心できる集団づくりを推進する。良質な発問と待つ忍耐力を持つ。ICT機器を活用する。授業改善に直結する研修を行う。</li> <li>9 地域人材・施設の活用を積極的に行う。</li> <li>10 組織的なふりかえりを促進させる。 教育課程検討委員会で評価項目の見直しを行う。保護者アンケート、教職員自己評価、生徒がんばったアンケート（7月・12月）を実施し、公開する。学校運営協議会（年3回）実施する。</li> </ol>																												
<p>研究主題</p>	<p>「生徒が自ら考え、伝え合う力を高める学習指導の充実」 ～新学習指導要領の趣旨を取り入れた学び合う場の充実～ 3年計画の第2年次</p>																												
<p>基本的な日課</p>	<table border="0"> <tr> <td>朝自習</td> <td>8：10 - 8：15</td> <td>昼休み</td> <td>12：50 - 13：05</td> </tr> <tr> <td>短学活</td> <td>8：15 - 8：20</td> <td>5校時</td> <td>13：10 - 14：00</td> </tr> <tr> <td>1校時</td> <td>8：30 - 9：20</td> <td>6校時</td> <td>14：10 - 15：00</td> </tr> <tr> <td>2校時</td> <td>9：30 - 10：20</td> <td>短学活</td> <td>15：05 - 15：15</td> </tr> <tr> <td>3校時</td> <td>10：30 - 11：20</td> <td>清掃</td> <td>15：15 - 15：30</td> </tr> <tr> <td>4校時</td> <td>11：30 - 12：20</td> <td>下校</td> <td>15：30</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>12：20 - 12：50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	朝自習	8：10 - 8：15	昼休み	12：50 - 13：05	短学活	8：15 - 8：20	5校時	13：10 - 14：00	1校時	8：30 - 9：20	6校時	14：10 - 15：00	2校時	9：30 - 10：20	短学活	15：05 - 15：15	3校時	10：30 - 11：20	清掃	15：15 - 15：30	4校時	11：30 - 12：20	下校	15：30	昼食	12：20 - 12：50		
朝自習	8：10 - 8：15	昼休み	12：50 - 13：05																										
短学活	8：15 - 8：20	5校時	13：10 - 14：00																										
1校時	8：30 - 9：20	6校時	14：10 - 15：00																										
2校時	9：30 - 10：20	短学活	15：05 - 15：15																										
3校時	10：30 - 11：20	清掃	15：15 - 15：30																										
4校時	11：30 - 12：20	下校	15：30																										
昼食	12：20 - 12：50																												
<p>校歌</p>	<p style="text-align: right;">佐呂間中学校校歌</p> <p>一、連峰はるか雲もえて 光さやけき 朝空に 希望あふるる窓あけて 建てるは佐呂間中学校</p> <p>二、湖白く風落ちて 星もほほえむ 夕なぎに 幸ある日々をたたえつつ 肩くみかわすわれらなり</p> <p>三、嵐にめげず 雪こえて 真実に生きん若人が 唇固く眉あげて 踏みゆく大地下萌えん</p> <p>（昭和二十七年八月二十五日制定）</p>																												

北海道佐呂間高等学校				校				
所在地	常呂郡佐呂間町字北311番地の1			章				
創立年月日	昭和23年11月25日							
沿革	昭和23年11月25日	道立遠軽高等学校佐呂間分校として開校（定時制）						
	昭和26年4月1日	佐呂間村立佐呂間高等学校となる						
	昭和28年4月1日	町制施行により佐呂間町立佐呂間高等学校となる						
	昭和30年4月1日	農業科設置						
	昭和37年4月1日	全日制課程新設						
	昭和39年3月31日	道立移管 北海道佐呂間高等学校となる						
	昭和54年2月28日	定時制閉課						
	昭和55年10月10日	創立30周年記念式典・校舎改築落成記念式典						
	昭和58年3月7日	網走管内教育実践表彰受賞						
	昭和58年9月22日	網走管内社会福祉事業功労賞（団体）受賞						
	昭和59年2月10日	北海道教育実践表彰受賞						
	平成元年12月15日	屋内体育館完成（966.48㎡）						
	平成3年4月1日	全日制普通科1間口減、2間口となる						
	平成10年3月1日	校訓制定						
	平成10年10月18日	創立50周年記念式典挙行						
	平成11年2月7日	平成10年度網走管内教育実践表彰受賞						
	平成13年2月5日	平成12年度北海道社会貢献賞を受賞						
	平成15年4月1日	二学期制導入						
	平成19年11月15日	平成19年度全国学校体育研究優良校表彰受賞						
	平成20年7月3日	北海道教育委員会環境教育プロジェクト校指定						
平成22年6月22日	北海道教育委員会「高1クライシス未然防止事業」指定							
平成26年4月1日	全日制普通科1間口減、1間口となる							
平成27年4月1日	北海道教育委員会より「地域キャンパス校」の指定を受ける							
平成30年4月1日	北海道教育委員会より「地域関係特例校」の指定を受ける							
職員等	校長	今井 健晴		教諭	原子 俊介	(国語)		
	教頭	清水谷 ゆきえ		養護教諭	小川 千佳			
	事務長	松本 哲也		事務主任	本間 由己子			
	教諭	奥山 輝久	(数学)	主事(非常勤)	大橋 紘子			
	教諭	猪口 敏之	(保健体育)					
	教諭	関根 哲也	1・A担任(商業・情報)					
	教諭	長野 智幸	(理科)					
	教諭	竹岡 綾子	(家庭)					
	教諭	松重 光悦	(地公)					
	教諭	渡辺 知陽	3・A担任(英語)					
教諭	橋本 結衣	2・A担任(音楽)						
生徒数	学年	生徒数	学級数	部活動の状況				
	1年	25	1	テニス	吹奏楽局			
	2年	25	1	バドミントン	放送局			
	3年	12	1	バスケットボール				
	合計	62	3	サッカー				
学校評議委員	齋藤 博			田宮 俊之				
	大谷 宏明			松本 真嗣				
	鈴鹿 保							

P T A	会 長	阿 部 真		会 計	内 藤 恵	
	副会長	我 満 秀 美		会 計	松 本 哲 也	
	監 事	中 里 沙 織		事務局長	清 水 谷 ゆきえ	
校 訓	郷湖大地に学び自らの道を拓け					
教 育 目 標	1 自主性を高め、創造的な知性を持つ人となる。 2 豊かな情操を持ち、礼儀正しい人となる。 3 勤労を尊び、奉仕を喜ぶ人となる。 4 生命の尊さを知り、健康でたくましい人となる。					
教 育 の 方 針	・確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、 変化する社会に対応する力を養うため、次の教育を行います。 (1) 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業により、 確かな学力を(※1)育みます。 ※1 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力 (2) 探究的な教育活動によるキャリア教育を展開し、 社会人基礎力を(※2)養成します。 ※2 ①自ら挑戦する力 ②最後までやり通す力 ③他者と協働する力 (3) 地域の教育資源を活用し、未来を担う多様で人間性豊かな人材を、 地域と共に育成します。 (4) 地域連携特例校のメリットを活かし、ICTを活用した遠隔授業や 他校との合同学習の機会を充実させ、協働的な学びを推進します。 (5) きめ細やかで個別最適な学習指導により、生徒の良さや可能性を 引き出し、希望進路の実現を目指します。					
研 究 主 題	家庭・地域から信頼され、必要とされる学校の実現					
基本的な日課	SHR	8:30~	8:40	昼食	12:40~	13:15
	1校時	8:50~	9:40	5校時	13:15~	14:05
	2校時	9:50~	10:50	6校時	14:15~	15:05
	3校時	10:50~	11:50	SHR	15:05~	15:15
	4校時	11:50~	12:40	清掃	15:15~	15:30
校 歌	あゝ高き 我等が理想 尊き使命 果たすべく 真理の道 とわにたずね 星聖く またたくところ 北の国 空すみわたり あゝ我等 いざ進まん あふるる力 肩上げて 平和の郷 ここに拓き 水白く 輝くところ 遙かなる 佐呂間の湖の あゝ高校 わが学舎 若き誇り 毅然たる 明るき窓 遠く開き 雲青く 流るるところ 大いなる 希望を呼びて 佐呂間高等学校校歌					



## 学校教育関係団体

### ○佐呂間町校長会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
佐呂間中学校 齊 藤 修	若佐小学校 菅 原 正 弘	佐呂間小学校 二 神 孝 久	浜佐呂間小学校 佐々木 寿 彦

### ○佐呂間町教頭会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
佐呂間中学校 石 崎 俊 英	浜佐呂間小学校 竹 村 文 宏	佐呂間小学校 辻 和 彦	若佐小学校 日 村 航

### ○佐呂間町学校教育運営協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間中学校 齊 藤 修	佐 呂 間 中 学 校	

### ○佐呂間町特別支援教育推進協議会

会 長	事 務 局	備 考
若佐小学校 菅 原 正 弘	若 佐 小 学 校	

### ○佐呂間町複式教育研究連盟

委 員 長	事 務 局	備 考
浜佐呂間小学校 佐 々 木 寿 彦	浜 佐 呂 間 小 学 校	





○富士小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

富士小学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：松田喜一）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>わ富強松雲 わ富清峠丘 わ富遠朝海                  れ武いのを れ武いにの れ武いのに                  ら士身緑か ら士信雲牧 ら士望潮続                  は 体がむ は よも場 は みがいた                  果富よ つ 協富 の 学富よ た                  た武 呀た す武友湧 ぶ武 寄 湖                  す士心え 士愛い草 士あつ湖                  根て大 う よて萌 新 こてに                  ゆあよい山 るあ いえ しあがくる                  るあ るに わあ るて くあれ                  ぎこ こ しこ こよ                  なこ こ くこ こに                  くに</p>	<p>大正 4年 4月 1日</p> <p>昭和 3年 4月 1日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和18年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和24年10月11日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和41年 4月 1日</p>	<p>中佐呂間尋常小学校所属「富士分教所」として開設</p> <p>富士尋常小学校に昇格</p> <p>富士国民学校と改称</p> <p>高等科を配置</p> <p>新学制施行により佐呂間村立中佐呂間中学校富士分校を併置</p> <p>佐呂間村立中佐呂間中学校富士分校を併置</p> <p>富士中学校が分校から独立し富士小中学校となる</p> <p>町制施行により佐呂間町立富士小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合となり富士小学校となる</p>

○若里小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

若里小学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：山口祐功）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>興勤新明 剛澁生傾 高大明潮                  す労な日 き刺気れ きいかな                  ものりを ものあ射 もなる                  の 呼 の りす のるか                  勤わぶ 澁 りひ                  こ労れ こ刺わ清 こ大 ろ                  このら若 このれき こいわき                  に 若き に ら朝 になれ湖                  創愛里明 鍛命若影 学るら                  らの星 え讚里 ば 若                  ん 挙 ん 行里                  が 手                  りて のぞみ                  て て</p>	<p>明治43年 7月22日</p> <p>大正 4年 7月 5日</p> <p>大正12年 7月 1日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和25年11月15日</p> <p>昭和26年 8月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和40年 4月 1日</p>	<p>下湧別村芭露尋常小学校所属「床丹特別教授場」として開設</p> <p>計呂地教育所に所属変更</p> <p>床丹尋常小学校に昇格</p> <p>床丹国民学校と改称</p> <p>新学制施行により下湧別村立床丹小学校となる</p> <p>中学校を併置</p> <p>下湧別村との村界変更により佐呂間町に編入、佐呂間村立床丹小中学校と改称</p> <p>字名変更により若里小中学校と改称</p> <p>町制施行により佐呂間町立若里小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合となり若里小学校となる</p>

○若佐小学校（平成18年 若佐小学校再編）

若佐小学校校歌（作詞：小林幸雄・作曲：大野恒一）	沿	革
<p style="text-align: center;">三                      二                      一</p> <p>わみ澄樹      わ清心武      わみ緑朝 れんみ花      れくの士      れんに空 らなむの      ら素ちの      らな映あ の仲ゆひ      の直り流      の明えお 若よくか      若にをれ      若るるく 佐く心る      佐              佐い 小              小伸洗水      小 佐風 学正歌この      学びい清      学元呂か 校しとの      校ゆさく      校気間お いし庭              くり              な山里 子てに              子                      子</p>	<p>明治41年 6月 1日</p> <p>大正 3年 4月 27日</p> <p>大正 3年 9月 5日</p> <p>大正 5年 5月 10日</p> <p>大正 9年 4月 6日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和23年 4月 1日</p> <p>昭和23年 6月 23日</p> <p>昭和24年 11月 1日</p> <p>昭和31年 9月 30日</p> <p>昭和61年 4月 1日</p>	<p>下佐呂間尋常小学校所属「猿澗教授場」として開設</p> <p>武士教育場に昇格</p> <p>武士尋常小学校に昇格</p> <p>補修科併置</p> <p>高等科を併置し、武士尋常高等小学校となる。</p> <p>武士国民学校と改称</p> <p>新学制施行により佐呂間村立武士小学校となる</p> <p>佐呂間村立第2中学校を併置</p> <p>分村により若佐村立武士小中学校となる</p> <p>若佐小中学校と改称</p> <p>併置中学校分離独立</p> <p>佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐小学校となる</p> <p>栃木小学校を統合</p>

○佐呂間小学校（平成18年 佐呂間小学校再編）

佐呂間小学校校歌（作詞：大塚みつる・作曲：千葉日出城）	沿	革
<p style="text-align: center;">三                      二                      一</p> <p>雄競貫白      新海求湖      みき望朝 しいけ樺      たにめ      んよめ霧 い励              なつよ湖      なうよ 意め佐白      潮ら              のも 朝 気ば呂樺      をな佐う      夢流佐霧 が 間              る呂つ      をれ呂 冬小ふ      寄 間る      る 間晴 燃の学ぶ      せさ小空      呼 小れ え日校く      てざ学      ん青学 ても 路      く波校      で雲校山 くる              るが              いが る                      る</p>	<p>明治40年 6月 15日</p> <p>明治41年</p> <p>大正 2年 9月 1日</p> <p>大正 4年 4月 1日</p> <p>大正 7年 5月 25日</p> <p>大正12年 4月 5日</p> <p>昭和 2年 4月 3日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和26年 8月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p>	<p>鑑沸簡易教育所分校川口教授所の第一特別教授所として開設</p> <p>沙溜澗教育所所属第一特別教授所と改称</p> <p>中佐呂間尋常小学校に昇格</p> <p>中佐呂間尋常小学校所属富武士教授場設置</p> <p>中佐呂間尋常小学校と改称</p> <p>中佐呂間尋常高等小学校と改称</p> <p>中佐呂間尋常小学校所属富武士教授場が特別教育規定により独立</p> <p>小学校令改正により、常呂郡中佐呂間国民学校となる</p> <p>学制改革により常呂郡佐呂間村立中佐呂間小学校と改称</p> <p>常呂郡佐呂間村立佐呂間小学校と改称</p> <p>町制が施行され、常呂郡佐呂間町立佐呂間小学校と改称</p>

○若佐中学校（平成18年 佐呂間中学校へ統合）

若佐中学校校歌（作詞：大塚 盈・作曲：松田喜一）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>若承明う夕 若通まひ風 若求望はみ            佐け日る映 佐いこびの 佐めあるは            つあわえ 来とき木 きれか            若ぎれしの 若てあ合々 若て なか            佐て や 佐 れう 佐 湖りす            雲 雲 我 道 我と 湖            中我とこ燃 中等風こに 中等明こ湖            学等新このえ 学とこのそは            我 たの愛立 我磨清このよか            等創に愛立ち 等かんくせせぎ            らん ざらぎ</p>	<p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和22年 7月 17日</p> <p>昭和23年 4月 1日</p> <p>昭和23年 6月 23日</p> <p>昭和24年 11月 1日</p> <p>昭和27年 3月 31日</p> <p>昭和31年 9月 30日</p>	<p>佐呂間村立第2中学校として開校（若佐小学校に併置）</p> <p>武士中学校と改称</p> <p>分村により若佐村立武士中学校となる</p> <p>若佐中学校と改称</p> <p>単置校となり上佐呂間中学校を統合（分校として所属）</p> <p>上佐呂間分校廃止</p> <p>佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐中学校となる</p>

○浜佐呂間中学校（平成18年 佐呂間中学校へ統合）

浜佐呂間小中学校校歌（作詞：坂本 亮・作曲：津田 甫）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>こ描よく夕 こ築はオ澄 こ学あ朝イ            のころれや のこぼホみ のぼかかワ            うこなけ うたしわ うるぜケ            よびいの よくツた よいにシ            い花に いゆくる いたの            丘咲あ雲 丘たのの 丘しひそ            のくふそを のかぞ空 のかとよ山            れま なみ遠に なみぐが            学夢るるう 学をい 学と            校を つ 校里 流 校知 しか            で 胸サし でを仰 汐れ で恵声らが            に口て でぎぎて をでかや            み マ みん い みん ばき            ん 湖 ん ざらぎ ばき            な な な</p>	<p>大正 4年 4月 1日</p> <p>大正13年 5月 7日</p> <p>昭和 5年 1月 20日</p> <p>昭和 5年 4月 7日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和30年 7月 1日</p>	<p>下佐呂間尋常小学校所属「川口教授所」として開設</p> <p>川口尋常小学校に昇格</p> <p>下佐呂間尋常小学校と改称</p> <p>高等科を併置し下佐呂間尋常高等小学校となる</p> <p>下佐呂間国民学校と改称</p> <p>新学制施行により佐呂間村立下佐呂間小学校となる</p> <p>佐呂間村立下佐呂間中学校を併置</p> <p>町制施行により佐呂間町立下佐呂間小中学校となる</p> <p>字名変更により浜佐呂間小中学校と改称</p>



# 社 会 教 育

## 社会教育目標

人生100年時代を迎え、ゆとりと活力に満ち、健やかに過ごしたいという町民の共通の願いがあります。このことから、文化・スポーツなどを通じて生きがいを創造し、豊かな地域づくり・人づくりを目指して主体的に学習実践する町民の育成に努めるため、この社会教育目標を制定します。

### 人々を 地域を 夢を育む サロマの未来

#### 【知】 未来を語り ともに学び 自ら創り出す サロマ人に

「人は地域を造り、地域は人を作るがごとし」と言われ、先人の知恵を媒体に、個人は生きて働く力を持つ必要があります。現実を踏まえつつも、未来に夢を抱き、ともに学び続ける意欲を形成することによって時代の変化に対応できる資質の向上を図り、創造する人間像を目指すものです。

#### 【情】 自然を愛し 人を愛し ふるさとを愛する サロマ人に

郷土に生きる喜びを、ともに分かち合い、心豊かで潤いのある社会生活の維持向上のため自然や人々との触れ合いを大切にするとともに、郷土芸能や伝統文化等を介して情操豊かにして、温か味のある人類愛を創造する人間像を目指すものです。

#### 【意】 汗を尊び ぬくもりのある 地域づくりを目指す サロマ人に

勤労を喜びとし、自己啓発をはかり、日々の生活に生きがいを感じ、ゆとりと充実の中に、住民一人ひとりが地域に目覚め、地域とともに成長することを願い、地域に根ざした諸活動への積極的な参加を通して、地域づくりを創造する人間像を目指すものです。

#### 【体】 大地とともに生き たくましく躍動する サロマ人に

大自然の豊かな恵みを受け、心身ともに健康で明日を夢見る生活環境を構築するために健全な心身への関心をもち、日常的に運動に参加し、スポーツの生活化をはかり、生き生きと健康で長生きのできる社会を創造する人間像を目指すものです。

(平成8年2月1日制定)

(令和3年2月17日一部改訂)

## ■ 解 説

緑豊かで、朝陽に輝く湖、風光明媚な郷土で先人達は、1世紀にわたって己に夢を抱き、ロマンを求め不屈の開拓精神を駆使し、今日的な活気のある佐呂間町の繁栄を築きあげてきました。この先人の残した貴重な伝統を受け継ぎ、21世紀に羽ばたく町民像を創造し、来るべき社会にふさわしい町民の意識や行動の変容が期待されています。

そして町民憲章の英知と友愛と勇気の花の響きは大きな夢に波及し、人々に生き甲斐と潤いを持たせ、佐呂間町に「住みたい」、「住んでよかった」という未来のサロマを強く希求します。特に今日的課題である『人間性の欠如』に関わって、佐呂間町特有の大自然の優しさ・厳しさを媒体に人々を育み、高い知性とあふれる創造力をもって思いやりや、たくましいサロマ人としての誇り高い町民像を目指したものです。

## ◆ 推進目標

- 乳幼児教育 親と子の健やかな愛を育む、乳幼児教育の推進
- 少年教育 たくましく豊かな心を育む、少年教育の推進
- 青年・成人教育 潤いと豊かな明日を創る、青年・成人教育の推進
- 高齢者教育 健康で生きがいのある、高齢者教育の推進

## ■ 解 説

人間は生涯にわたって発達するものであり、発達段階にふさわしい教育目標を設定し、その具現化のために、人的・物的な諸条件を整備充実することにより望ましい人間が形成されるという仮説を立て、方向目標として制定したものです。各目標は、佐呂間町ばかりでなく、広く今日的課題として考察し、未来に希求するサロマの人間像として示したものです。特に、21世紀は心の時代ともいわれ、各発達段階において、必要課題や要求課題等を十分に検討し、達成目標を掲げ施策を試みる必要があります。町民の意識では、全体として、『健やか・たくましさ・潤い・生きがい』を求めていることを踏まえ、町民のニーズに応える内的要求・外的要求を組み合わせながら人間性豊かな人格を形成することを目指しています。

## ◎ 第8次社会教育中期計画のキーワード

### 『多様性』

- ・「みんなちがって、みんないい」  
近年、多様な人達・価値観・思考が顕在化しています。  
それらの多様性を受け入れ活用し、誰もが尊重され活用できる社会の構築が望まれます。

### 『いのち』

- ・世界各地で自然災害の発生、地域紛争の勃発、そして新たな感染症の拡大など、今多くの命が脅かされています。  
改めて一人ひとりが命の大切さを自覚し、尊い「いのち」を考えることが大切です。

### 『変革』

- ・自然、科学、社会、教育など、私達の日常を取巻く環境は大きく変遷してきました。今後更に変化が予測される社会では変えてならない大切なものを堅持しながら、時代の変化に適応した変革が必要です。

## ◎ 第7次社会教育中期計画のキーワード

### 『寿世代』（佐呂間町の社会教育において、60歳以上の世代を呼称する。）

- ・皆長寿社会が定着し、あらゆる方面で、「寿世代」の存在感が増しています。  
今後、生産現場に限らず、ふるさとづくりにおいても、「寿世代」が培った知識・技能を活かすことが期待されています。

### 『居場所』

- ・すべての人が、生き活きと暮らすために、家庭・地域・学校・職場など様々なところで、一人ひとりの「居場所」が必要です。  
子どもから「寿世代」まで、あらゆる世代の「居場所」づくりが求められています。

### 『双方向』

- ・社会が大きく変遷する中、人間関係の希薄化が進み、5年前の東日本大震災以降「絆」やより強い人の繋がりが求められています。  
「双方向」からの情報の共有や交流事業を推進し、「学び合う、育ち合う、高め合う」関係をつくる事が必要です。

## ◎ 第6次社会教育中期計画のキーワード

### 『絆』

- ・今の時代背景の中で、過疎・少子高齢社会が「限界集落」を、経済不況・人間関係の希薄化が「無縁社会」をつくり出し、一方家庭では介護・育児における家庭の在り方、親子の在り方が大きな問題になっています。  
誰もが安心して暮らせるために「支え合う 助け合う つながり合う」人と人との強い「絆」で結ばれた社会の構築が求められます。

### 『環境』

- ・地球規模の大きな気候変動が、私たちの身近な暮らしにも深刻な影響を与えています。郷土（ふるさと）の豊かな自然を、恵まれた環境を確かなものとして未来に引き継ぐことが私たちの責務であり、そのことが、かけがえのない地球を、かけがえのない生命（いのち）を守ることとなります。

### 『人間力』

- ・住民の「ビジョン（夢）」、「パッション（情熱）」、「アクション（行動）」によって地域は創造されてきました。多くの課題に取り組まなければならないこれからの地域づくりには、今まで以上に一人ひとりの力が求められています。自ら学び成長することが地域の成長になり、たくましい地域をつくりあげることになります。

令和4年度 社会教育関係事業

領域		子育て					
課題		○子育て支援に関する情報発信を充実させる必要がある。 ○子育て中の親同士のコミュニティが必要である。 ○ICT機器の利便性・危険性の知識が必要である。 ○学校との連携が必要である。					
方向性		○子育て支援センター事業の充実 ○子育てに関する情報発信の工夫と強化 ○SNSを学ぶ場の提供 ○地域の教育力の活用					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	あいあいらんど	乳幼児期の子どもと親を対象に、家庭ではなかなかできないことや四季折々の行事を体験することで、子どもたちの集団生活への適応性・コミュニケーション能力の向上、親同志の交流を推進する。	未就学児とその親	①6月29日 ②7月14日 ③9月7日 ④10月12日 ⑤12月21日 ⑥1月18日	①町民センター ②佐呂間保育所 ③流水公園 ④町民センター ⑤町民センター ⑥保育所駐車場	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	子育て支援センター、社会教育課、保健福祉課共催 (①流しそうめん、②ミニコンサート、③バス遠足、④親子クッキング、⑤クリスマス会、⑥雪中運動会)
社教	お話あいあい	乳幼児期の子どもを持つ親を対象に、子育てに関する情報を提供することで子育てに対する不安の軽減を図るとともに、子育てについてともに考える仲間づくりを推進する。	未就学児とその親	①5月11日 ②6月8日 ③7月13日 ④8月25日 ⑤9月14日 ⑥11月16日 ⑦2月8日	子育て支援センター (⑥⑦はスター)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	子育て支援センター、社会教育課、保健福祉課共催 (①②歯の大切さ、③⑤救急処置法、④言葉を育む関わり方、⑥⑦親子触れ合い体操)
社教	家庭教育学級	親(地域住民)が子育ての知恵を得たり、子ども達にとって望ましい地域環境づくりを進めるための学習機会の場として、学校地域内を中心に開催する。	町内小中学校	随時	学校等		講師謝礼及び消耗品費を教育委員会が支出上限額 ・講師謝礼(年間)20,000円 ・消耗品費(年間)5,000円
社教	家庭教育講演会	家庭教育の重要性を再認識させ、地域の教育力の向上を図る。	乳幼児・児童生徒を持つ親、祖父母ほか				
社教	子育て講座	町内の親子等が協力して地域の産業などについて学び、地域の食、いのちの大切さ、家族のふれあいなどについて、学ぶ機会を提供する。	乳幼児・児童生徒とその親、祖父母ほか	未定	未定		企画内容は家庭教育推進会議で検討(家庭教育推進会議と共催)
社教	家庭教育推進会議	地域ぐるみで子育てを行う意識を高め、また地域の力を生かして子育て事業の展開を図る。	子育て支援団体、PTA、スポーツ少年団、保健師、子育て支援センター、社会教育課等	①5月 ②10月 ③2月	町民センター等	① ② ③	
スター	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングや卓球、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生(保護者同伴)～成人	4月1日(金) ～ 3月31日(金)	武道館	—	*平日(火～金) 10:00～21:00 *土曜日・日曜日 10:00～17:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道利用、その他団体使用時は中止
図書	ブックスタート	(詳細「図書館」領域に掲載)					

領域		育ち					
課題		○ICT機器使用のコントロール力を養う必要がある。 ○SNS等の危険性を学ぶ必要がある。 ○実験からの学びが必要である。 ○多様な人間との関わりが必要である。					
方向性		○事業の情報発信の強化 ○ICT機器について学ぶ機会の提供 ○事業内容の充実と工夫(体験型・多様性) ○学校との連携強化					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	サイエンス・キャラバン	様々な科学実験を体験することで、子どもたちや一般町民に科学への関心が高まることを目指す。	全町民	2月19日	町民センター		子ども会育成会連絡協議会共催 かまくら雪まつりと同日開催
社教	子育て講座	(詳細「子育て」領域に掲載)					
社教 社体	わんぱく広場	地域の身近な自然・人材を活用することにより、ふるさとに対する愛着心の向上を促すとともに、各種体験活動を通じ、学校間、異年齢間の交流を図る。	小学4～6年生	未定	未定		

領域		学 び					
課 題		○ I C T 機器操作の学びを提供する必要がある。 ○ 対面・交流による学びの場が必要である。 ○ 誰もが参加しやすい環境をつくる必要がある。 ○ 女性が参加しやすい学びの場や交流の場が必要である。 ○ 町民の声が反映された事業づくりや情報提供をする必要がある。 ○ 学習活動団体の育成をする必要がある。					
方向性		○ I C T 機器を活用した学びの支援 ○ 学びへの意欲や理解を促進する環境整備 ○ 学習・交流の場づくりや支援 ○ 町民の声（ニーズ）の聞き取りの充実 ○ 情報提供ツールの拡大					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	佐呂間高校開放講座	生涯学習の観点から地域の教育機関と連携し、町民の学習機会の拡充を図る。	成人	未定	佐呂間高校		佐呂間高校と共催
社教	佐呂間高校生フォトコンテスト	佐呂間高校と地域のつながりや地域創生に向けた高校の魅力化を図るとともに、高校生の郷土愛の醸成を目的に事業を展開する。	高校生	未定	町内		佐呂間高校と共催 講演会：6/28
社教	町民講座「夢工房」	町民が心豊かな生活を送れるよう、また多様な学習要求に応える機会を提供し、学習意欲の向上と日常化を促す。併せて、町内の指導者を活用し新たな人材の育成を図る。	成人	未定	未定		
社教	寿大学	(詳細「生きがいづくり」領域に掲載)					

領域		健康づくり・スポーツ					
課 題		○ 健康に関する活動を継続できる事業展開・支援の必要がある。 ○ 多様化するニーズに対応し、健康に興味・関心を促す取り組みの必要がある。 ○ 事業、指導者、団体の情報発信強化の必要がある。					
方向性		○ ニーズに合わせた活動場所の提供 ○ 多様なニーズに応えるための指導職員の増員・育成 ○ I C T の有効活用					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社体	町技奨励事業「町長杯ソフトボール大会」	町技であるソフトボールの普及奨励を図る。	全町民	8月頃	総合グラウンド		企画・運営 ソフトボール協会
社体	カマ湖100kmウルトラマラソン	今年第37回目を迎えるカマ湖100kmウルトラマラソン。湧別町を5時にスタートし雄大なカマ湖を望みながらフィニッシュの北見市常呂町を目指します。(50kmの部は100年広場10時スタート)	成人	中止	北見市常呂町 佐呂間町 湧別町		代替大会 オンラインチャレンジ開催予定
社体	出前講座	学校での運動事業に対し、スポーツ推進委員を派遣し、新しいスポーツの体験や交流を図る。	小学生	随時			学校と協議し実施予定
社体	スターまつり	スポーツ推進委員が企画運営し委員活動の活性化及び施設の利用促進並びに町民相互の交流を図る。	全町民	10月10日予定	スター		スターを無料開放(全町民対象) 体力測定、ニュースポーツ、運動体験、水中ゲーム、絵本読み聞かせ
社体	スポーツ振興助成	本町のスポーツ振興に寄与するスポーツ団体・個人に対し助成を行い、町民の心身の健全な発達とスポーツ意識の高揚を図る。	全町民	随時			全道大会、全国大会、選抜大会参加経費の一部を助成
社体	スポーツ表彰	スポーツの振興に寄与した者及び優秀な成績を収めた者を表彰する。	全町民	10月10日予定 スターまつりと併催	武道館及び 温水プール		・スポーツ功労賞 ・スポーツ奨励賞 ・スポーツ特別賞
社体	学校開放事業	本町のスポーツ振興のため学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、地域住民の健康増進及びコミュニティ形成に寄与する。	全町民	随時	各小中学校		利用団体 佐呂間：バレー、ミニバス、野球、フットサル 若 佐：ミニバレー、ソフトバレー、ミニバス 浜佐呂間：ミニバレー、剣道
社体	スポーツチャレンジday	スポーツ推進委員が企画運営し、子ども又は親子でスポーツの楽しさを様々な種目により体験し、スポーツの習慣づけやスポーツを通して協調性を学ぶ場を提供する。	全町民	未定	スター・体育館		
社体	健康ウォーキング	スポーツ推進が企画運営し、町民の健康増進、運動の習慣化を図り、更には町民相互の交流を図る。	全町民	①6月予定 ②9～10月予定	町内		①浜佐呂間コース予定 ②コース未定

社体 スター	さろま健康づくり講座	スターの施設を活用した健康づくり講座を外部講師を招き開催	成人女性	全6回 毎週水曜日 11月2日～12月1日予定	武道館及び 温水プール		骨盤体操、筋膜体操、シェイプアップダンス、フルボックス、ダンス系エクササイズ、ユニバーサルヨガを実施予定
			成人女性	9月～10月	武道館	20名	※テーマ・内容 未定 ※4本実施予定
社体 スター	からだはぐくむスクール 「ちびっこスキー教室」 「元気アップおやこ運動スクール」	就学前児童に対し、就学に備えた体力づくりとスポーツの楽しさを理解させる。	R5年度新1年生	1月21日(土) ～ 2月4日(土)	町営スキー場		毎週土曜日、3回開催予定
				全3回 2月18日・25日・ 3月4日	武道館	20組	*毎週土曜日 *13:30～14:15 ※指導協力：山崎指導員
社体 スター	冬期健康プログラム 「こども運動教室」	小学生の運動能力と挑戦する気持ちを引き出す。	小学1～6年生	1月11日(水)～ 3月10日(金)	武道館	各25名	*毎週水曜日(低学年) 毎週金曜日(高学年) *16:00～17:00 全9回 ※指導協力：山崎指導員
スター	元気アップスイミング 「ちびっこコース」	施設の利用方法やプールにおける約束事の確認をしながら初歩の水泳を学ぶ。	R5年度新1年生	【Aコース】(火) 7月26日・ 8月2日・9日 【Bコース】(水) 7月20日・27日 ・8月3日	温水プール	各10名	*Aクラス 16:30～17:20 *Bクラス 16:30～17:20 ※事業協力：水泳指導員外
スター	元気アップスイミング 「ジュニアスイミングコース」	各レベルに応じた段階的指導を行い、楽しみながら水泳を学ぶプールが好きな教室運営を目指す。	小学1～3年生	5月10日(火) ～ 7月15日(金)	温水プール	各12名	*指導内容：水なれ～クロール息継ぎ *各10回コース *16:00～17:00 ※クラス設定未定 ※事業協力：水泳指導員外
スター	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング& 体幹トレーニングコース」	陸上でのトレーニングと水泳を組み合わせ、総合的な運動能力向上と泳力の向上を目指す。	小学4～6年生	8月18日(木) ～ 10月21日(金)	武道館及び 温水プール	各15名	*指導内容：陸上での体幹トレーニング(発育発達運動)及び水泳の各種泳法 *9回コース *木曜日16:00～17:30(Gr未習得クラス) *金曜日16:00～17:30(Gr完泳クラス) ※事業協力：水泳指導員外
スター	元気アップスイミング 「マスターズコース」	水中運動及び水泳の各種泳法クラスを設定し、目的に合わせた健康維持・増進を図る。	中学生以上	①5月11日(水) ～7月14日(木) ②8月17日(水) ～10月20日(木)	温水プール	各10名	*水曜日 18:30～19:30(各10回) ①水中運動(初心者～初級者) ②水中運動(初心者～初級者) *木曜日 18:30～19:30(各10回) ①各種泳法(初級者～中級者) ②各種泳法(初級者～中級者) ※事業協力：水泳指導員外
スター	冬期健康プログラム トレーニングミニ講座	気軽に参加できる各種トレーニングに関する講座を開催し、町民の健康維持・増進と施設の利用促進を図る	高校生以上	1月11日(水) ～3月8日(水)	トレーニングルーム 武道館 他	各5～10名	ストレッチング、コンディショニング、筋力運動、ウォーキング等のミニ講座 *水曜日18:30～19:20 *テーマについては事前告知(夢通信、館内配布カレンダー等)
スター	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングや卓球、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生 (保護者同伴) ～成人	4月1日(金) ～ 3月31日(金)	武道館	—	*平日(火～金) 10:00～21:00 *土曜日・日曜日 10:00～17:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道利用、その他団体使用時は中止
スター	パーソナル指導	利用者の目的に合わせた各種トレーニング及び水泳・水中運動の個人指導	幼児 ～ 成人	5月10日(火) ～ 3月31日(金)	温水プール トレーニングルーム 会議室 他	1～2名	*事前予約制 *1人年間12回まで、月2回まで申込み可(但し、プールでの指導はシーズン中1人6回まで) *陸上でのトレーニング指導は小学生以上
スター	指導者派遣事業	指導者派遣依頼・教室開催要望等へ対応	—	通年	スター 他	—	*1団体につき年間3本まで
スター	冬期健康プログラム 「らくらく健康体操」	中高齢者向けに健康体操教室を実施する。	成人 (高齢者向け)	1月12日(木) ～ 3月16日(木)	武道館	各20名	*毎週火・木曜日 全18回 *13:30～14:15
スター	健康スノーシューコース 開放	冬期間の100年広場を活用した屋外スポーツ活動の場を提供することで、町民の健康維持・増進を図る	町民	2月～3月	100年広場 (パークゴルフ場及び多目的広場)	—	*貸出用用具設置
スター	日本水泳連盟認定泳力検定会	日本水泳連盟認定の泳力検定を通じて、水泳技術の向上を図る。	小学生以上	10月28日(金)	温水プール	—	*18:30～19:30
スター	水泳指導者講習会	水泳の指導理論及び指導実技研修	町内水泳指導員	日程未定	温水プール 他	—	*北見水泳協会依頼予定

領域		施設			
課題		<p>○年間を通して子どもたちが安全に遊べる場所が必要である。  ○多様化する活動に対応するため、施設利用条件を緩和する必要がある。  ○施設開設状況など利用に関する情報発信強化の必要がある。  ○施設・設備の維持管理及び新設の検討が必要である。</p>			
方向性		<p>○子どもたちが安全に遊べる場所の提供  ○更新の検討及び更新の際のバリアフリー化、複合化、集約化  ○施設利用の利用条件緩和  ○利用に関する情報発信改善</p>			
係	施設名	主な施設整備	開設年度	休館日・利用時間等	備考
社教	市民センター	佐呂間町市民センター舞台装置修繕工事 ・ワイヤー交換、ウインチ交換、レール交換、舞台幕補修 【事業費：6,456千円】	昭和52年	休館日：12/29～1/5 利用時間：午前9時～午後10時	
社教	開拓資料館	施設の維持管理を継続して実施	昭和52年	休館日：12/29～1/5 利用時間：午前9時～午後5時	
社体	体育館	施設の維持管理を継続して実施	昭和47年	①休館日 ・毎週木曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/29～1/5 ②利用時間 ・月、火、金 午後1時～午後9時 ・水 午後1時～午後9時30分 ・土、日 午前9時～午後5時	
社体	スキー場	スキー場周囲立木伐採工事 【事業費：651千円】	昭和59年	利用期間：スキー可能な期間 利用時間：午前10時～午後9時	ロッジ事務所から立木により視認できないコース部分において立木の伐採を実施
社体	100年広場	①100年広場多目的広場街灯増設工事 ・多目的広場水飲場街灯増設 【事業費：197千円】	平成4年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	
社体	屋外体育施設	①屋外体育施設除草剤散布業務委託 ・若佐PG、100年広場（パークゴルフ場、多目的広場）、浜佐呂間PG 除草剤散布〔即効性〕 【事業費：1,034千円】 ②屋外体育施設除草剤散布業務委託 ・若佐PG、100年広場（パークゴルフ場、多目的広場）、浜佐呂間PG 除草剤散布〔遅効性〕 【事業費：1,716千円】 ③パークゴルフ場等芝生整備工事 ・若佐パークゴルフ場芝生張替 【事業費：3,399千円】 ④佐呂間テニスコート樹木伐採工事 ・テニスコート町道間樹木伐採 【事業費：1,870千円】 ⑤総合グラウンド施設整備工事 ・野球場道具庫解体、新規設置 【事業費：1,287千円】 ⑥若佐パークゴルフ場券売機更新 【事業費：581千円】	総合グラウンド 昭和47年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	①～②：R3早魃による被害からの芝生再生事業として、芝生の再生を阻害する雑草の駆除を目的として除草剤を散布。 ③若佐パークゴルフ場の芝生維持管理のため、3ヵ年計画で芝生の張替を実施。 ④テニスコート町道間の樹木が電線（光回線等）を巻き込んでいることから倒木等による断線やフェンスへの被害を防ぐために樹木を伐採。 ⑤経年劣化の著しい総合グラウンド野球場道具庫の解体及び新規プレハブの設置。 ⑥旧型のため修理部品等のない若佐パークゴルフ場券売機更新
スク	武道館・温水プール	施設の維持管理を継続して実施 ①武道館・温水プール更衣室トイレ改修工事 【事業費：1,188千円】 ②トレーニングルームエアコン更新工事 【事業費：2,574千円】 ③プールフロア更新事業 【事業費：1,188千円】	平成6年	①休館日 ・毎週月曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/30～1/6 ②利用時間 ・午前10時～午後9時 ・土、日曜日は 午前10時～午後5時 ③温水プールの開館は5～10月	①温水プール女子更衣室内トイレの洋式化工事 ②トレーニングルーム内設置のエアコン更新工事 ③競泳用プール内設置のかさ上げ台更新

領域		団体支援				
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>○団体の存続・活動支援を強化する必要がある。</li> <li>○多様化する少人数グループの活動促進、情報発信強化をする必要がある。</li> <li>○少人数グループの活動場所の提供が必要である。</li> <li>○指導者の育成、支援強化する必要がある。</li> </ul>				
方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>○団体活動のPR促進、情報発信強化支援</li> <li>○指導者の発掘、育成支援</li> <li>○補助金等の支援の継続</li> </ul>				
係	団体名	趣 旨	予算額	交付額	備 考	
社教	子ども会育成会連絡協議会	各種事業・研修会の実施、子どもたちの健全育成、リーダーの育成、さらには地域の教育力の向上など、町内の単位子ども会の活動を推進するため、町内の子ども会育成会で組織する「子ども会育成会連絡協議会」に対し支援する。(単位子ども会育成会 7団体)	327,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、サイエンスキャラバンの共催等	
社教	P T A 連 合 会	親と教師が相互に連携し、研修会への参加や研究大会の開催、地域の教育力の向上など、町内の小、中学校及び高校のP T Aで組織する「P T A 連 合 会」の活動に対し支援する。	145,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町P連研究大会、教育懇談会等	
社教	文化連盟	町民に成果を発表、鑑賞する機会を提供し、地域の芸術文化の振興に寄与するなど、本町の文化活動の中心となる活動している「文化連盟」の活動に対し支援する。	549,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、総合文化祭開催、リーダー研修等	
社体	佐呂間町スポーツ協会	佐呂間町のスポーツの普及並びに団体の活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「佐呂間町スポーツ協会」の活動に対し支援する。	1,200,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町内大会後援等	
社体	スポーツ少年団本部	佐呂間町の少年スポーツの普及並びに活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「スポーツ少年団本部」の活動に対し支援する。	383,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、講習会への支援等	
社教・社体	佐呂間町文化・スポーツ活動促進事業	対象者を構成員の過半数が町民であるスポーツ協会加盟団体、少年団本部加盟団体、文化連盟加盟団体、指導者を含め5名以上で構成され、1年以上継続している団体・サークル、佐呂間中学校及び佐呂間高校の部活動を対象に、対象団体が主催する講習会等に係る講師謝礼、団体構成員、指導者が参加する講習会に係る旅費等を補助	1,500,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成	

領域		生きがいづくり					
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>○町民の知識・技能を地域に活かす必要がある。</li> <li>○要望に対応した学習活動・団体活動の環境整備をする必要がある。</li> <li>○社会性を育むための学習機会の提供と参加を促す必要がある。</li> <li>○情報通信技術の向上を図る必要がある。</li> </ul>					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>○寿世代の知恵の継承</li> <li>○個人で取り組むことが難しい活動への支援</li> <li>○世代間・分野間の交流事業</li> <li>○I C T 機器を活用した生きがいづくりの支援</li> </ul>					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	寿大学	高齢者の生きがいづくりに寄与するとともに、高齢者の持つ豊富な経験や能力の活用を図る。	60歳以上	通年	町民センター 他		
社教 社体 スター 図書館	事業講師の活用	町民の社会参加の場づくり、生きがい作りの視点から、社会教育事業の講師・協力者として、積極的に町民の協力を得ながら、事業展開をする	町民	随時			

領域		文化財					
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史的文化財の存在を周知する必要がある。</li> <li>○歴史的文化財を保全整備する必要がある。</li> <li>○開拓資料館・町民センター展示室の存在を周知する必要がある。</li> <li>○開拓資料館の展示の工夫と展示品を整備する必要がある。</li> <li>○説明ボランティアの育成が必要である。</li> </ul>					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史的文化財・自然風景の情報発信</li> <li>○開拓資料館・町民センター展示室の情報発信</li> <li>○開拓資料館の名札・説明板などの整備</li> <li>○説明を担う人材の育成</li> </ul>					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	佐呂間の歴史を学ぶ (小学生フィールドワーク)	小学生の社会科の学習において、佐呂間町の開拓の歴史に触れてもらう機会を提供し、先人たちが開拓した当時の様子や生活の移り変わりを学んでもらう	小学3・4年生	随時	開拓資料館		
社教	郷土資料の展示	佐呂間町における開拓資料を収集、保存展示し、教育、学術文化の進展に寄与する。	全町民	常設	開拓資料館 町民センター		

領域		芸術・文化					
課題		○芸術・文化の情報を発信する必要がある。 ○芸術文化支援事業について周知する必要がある。 ○団体・サークルへの活動支援が必要である。					
方向性		○芸術・文化活動の情報発信の強化 ○芸術文化支援事業についての周知の工夫 ○団体・サークルへの活動支援の強化 ○団体・サークル間の交流促進					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	ミニ劇場	幼児に生の芸術に触れる機会を提供し、創造性を養い、豊かな情操を育む。	町内保育所児・その他幼児ほか	7/14	佐呂間保育所		「ファミリーコンサート」（あみゆぜ。）
社教	少年文化劇場 (小学生・中学生対象)	芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化に対する理解と親しみを深めるとともに、情操面での発達を促す。	小・中学生全員	①9/1 ②9/27	①佐呂間小学校 ②佐呂間中学校		①演劇「あらしのよるに」（劇団さっぽろ） ②演劇「いちご同盟」（劇団さっぽろ）
社教	ミュージックフェスティバル	各学校・町内音楽団体の日頃の練習成果を広く発表する機会を提供するとともに、団体間の親睦や技術の向上を図り、音楽を通じた青少年の健全育成を目指す。	全町民	11月20日	町民センター		
社教	ミニ・ギャラリー	各種作品の発表の場及び観賞の場を提供することで、芸術文化の振興を図る。	全町民	随時	町民センター 1階ロビー		
社教	現代墨絵作家「安保 真」作品展 (墨絵教室の開催)	佐呂間町出身芸術家の作品を町内の多くの方に観てもらうとともに、墨絵（滲み画）原画の作品展をおし芸術活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供し、豊かな心と感性を育み、芸術への関心を高めてもらう機会とする。	全町民	9月下旬～10月下旬	図書館		墨絵、滲み画ほか原画を展示 墨絵教室については、作家来場時に実施。
社教	芸術文化支援事業	佐呂間町内における芸術文化公演等の鑑賞機会の充実を図り、また町民の自主的な芸術文化活動の活性化を図る。	全町民				・事業費補助 ・会場使用料免除 ・チケット取り扱い ・町民センター優先予約 ・名義後援
社教	文化講演会	町が主催で文化講演会を開催し、町民の文化意識を高め、芸術文化活動の活性化を図る。	全町民				
社教	芸術文化表彰	芸術文化の振興及び普及発展に顕著な実績又は功績のあった者を表彰する。	全町民	随時			
社教	成人式記念事業	新成人を祝福するとともに、新たなスタートへの自覚を促す。	平成14年4月2日～15年4月1日までに生まれたもの	1月9日	町民センター		
社教	音届けコンサート	町内では触れる機会の少ない質の高い音楽に触れる機会を提供することにより、子ども達や町民に音楽を愛する心を育て、豊かな情操を養う。 プロの音楽家達と佐呂間高校吹奏楽局員で演奏グループを結成し、町内各所に向いて小さいコンサートを開催することで、音楽を身近に感じてもらうとともに、出演する高校生にとっても、プロと共演する機会を提供する。	全町民				



領域		情報・制度					
課題		○情報発信を工夫する必要がある。 ○各種学習支援を周知する必要がある。 ○サポーターバンクを周知する必要がある。					
方向性		○ホームページの内容充実 ○SNSなどによる情報発信力の向上 ○各種学習支援制度・サポーターバンクの周知					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	教育委員会だより「夢つうしん」発行	生涯学習に関する啓もう・啓発のための広報活動を展開する。	全町民 (広報折り込み)	毎月			各学校を通じ、学校教職員に配布
社教	遠軽地区学習支援ネットワーク事業「なな・なんと情報」	遠軽地区各町村事業の情報を広く周知することにより、住民の学習機会の拡大を図る。	全町民 (広報折り込み)	偶数月			遠軽地区教育委員会協議会主催事業 (R4編集担当 湧別町)
社教	地域学習活動支援事業「まなびすと」	住民からの学習要望に対し必要な支援を行うことにより、住民の自発的な学習意欲の助長、学習機会の拡大を図り、地域生涯学習の充実・促進を図る。	町内で5人以上で組織する団体				
社教	サポーターバンク	町民の多様な自主的生涯学習活動を奨励、支援し、生涯学習活動の普及発展を図るとともに、町民が永年にわたって蓄積した知識、技能等を地域社会に還元する人材の発掘により社会参加を促進する。	全町民	随時			
社教	芸術文化表彰	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社教	芸術文化支援事業	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社体	スポーツ表彰	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
社体	スポーツ振興助成	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
図書	新着図書情報	(詳細「図書館」領域に掲載)					
図書	図書館だより「こちら佐呂間町立図書館です。」	(詳細「図書館」領域に掲載)					
社教 社体 スター 図書	インターネットを活用した情報提供	町ホームページなどを活用しながら情報発信を行う。	全町民	随時			

領域		図書館					
課題		○図書館事業の情報発信に工夫が必要である。 ○学校図書との連携を図る必要がある。 ○司書を有効的に活用する必要がある。 ○図書館全体のレイアウトの検討が必要である。 ○図書館ボランティアが必要である。					
方向性		○情報発信力の向上 ○学校図書との連携強化 ○司書の有効活用 ○読書スペースの拡充 ○図書館ボランティアの配置					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
図書	ブックスタート	子育て支援として絵本の活用を促進し、乳幼児と保護者の図書館の利用拡大を図る。 乳児と保護者に、読み聞かせの体験と組み合わせ、絵本を渡す。	乳児・保護者	偶数月 第4木曜日	佐呂間 コミセン	31組見込	9・10ヶ月児対象の乳幼児健診に合わせて実施 「ぼんぼんポコポコ」+1冊（既存本）
図書	セカンドブック	ブックスタート後、改めて絵本を通じての親子のふれあいの大切さを伝える。	3歳児	偶数月 第4木曜日	佐呂間 コミセン	22名見込	3歳児対象の乳幼児健診に合わせて実施 「きみのげんきをマロンジャー！」 「はりねずみのおいしゃさんとおばけのこ」
図書	移動図書館車巡回及び文庫サービス	情報及び資料提供の地域格差を解消し、図書館活動のPR、新刊案内等広域的なサービスの提供を行う。また子どもたちから読書に対する興味、関心を高め、読書習慣を身につける。	全町民	随時			(巡回サービス)16ヶ所 (文庫サービス)7ヶ所 若佐コミセン・浜佐呂間活性化センター・各小中学校・高校 (団体貸出)15箇所 保育所・子育て支援センター・老人福祉センター・ケアハウス・スター・めるくる・森永 他
図書	絵本原画展	絵本の原画を観るにより、興味関心をもち、本に親しみを感ぜてもらおう。	全町民	9月2日～15日	図書館		絵本原画巡回展「おばけのきもだめし」 ※オホーツク図書館協議会遠征ブロック共同事業
図書	読書感想文・感想画コンクール	読書を通して子どもの豊かな感性や表現力の向上を図るとともに、読書習慣を育てる。	各小中学校 児童・生徒		図書館		・作品募集 6月 ・作品受付締切 9月 ・感想画展示(館内) 11月 ・審査(感想画11月 感想文11月) ・盾・記念品授与 2月 ・作品集贈呈 2月
図書	図書館講演会	本・物語・読書に関連する講師・実演者を招き、講演会や講習会を行う。	全町民	10月予定	図書館		講師は選定中
図書	おはなし広場	幼い時から絵本や紙芝居の読み聞かせにふれることで、読書の楽しさを身につけてもらう。	幼児・児童 保護者	毎週土曜日 午後2時	図書館		図書館職員又はボランティアが読み聞かせを行う 令和4年3月末現在 ボランティア2名登録
図書	人形劇公演	人形劇サークルによるボランティア活動を通して、絵本や童話の世界と子どものふれあいを図る。	幼児～一般	年数回	図書館・保育所		人形劇サークル「ばんぷきん」による人形劇、パネルシアター、ミュージックシアター、大型紙芝居の公演を行う 老人施設や団体からの要請にも対応する 平成29年度からは交通安全人形劇も実施 ※図書館での公演は状況を見て開催
図書	映画上映会	映画鑑賞を通して、本や物語との出逢いを図る。	幼児～一般	7月、1月、3月	児童館、 浜佐呂間、若佐等		夏休み、冬休み、春休み中に開催 DVD作品を借り上げ、または購入し上映する ※状況を見て開催
図書	子ども向け事業	学校休業期間中に図書館に親しむ機会を設け、図書館の利用促進を図る。	児童	夏休み・冬休み等 学校休業期間	図書館		子ども向け事業を開催 ※春休み期間の事業は中止、代替事業を4月実施予定 (春は家読！おまけつき読書パック 4/19～4/27)
図書	図書館まつり	図書館に訪れるきっかけを作ることで、図書館のPR及び利用拡大を図る。	幼児～一般	夏季開催予定	図書館		各種行事を実施する ・古本市・人形劇公演・くじ引き等 ※お手伝い協力依頼は行事内容により検討
図書	新着図書情報	図書館に登録された新刊をとりまとめ、広く町民に知らせる。	幼児～一般	月1回	図書館及び 町ホームページ		印刷物をカウンター前で配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布 高齢者向け簡略版を寿大学、ふれあい郵便に同封 児童向けを各学校、支援センター等へ配布
図書	図書館だより「こちら佐呂間町立図書館です。」	特集コーナーの紹介や、行事の告知など、図書館の情報を発信し、来館のきっかけを作る。	幼児～一般	月1回	図書館及び 町ホームページ		印刷物をカウンター前で配布 町内の学校・施設へ配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布
図書	20歳の20冊	「読書を通して自立した社会人になってほしい」との思いを込め、選定委員会が選んだ書籍20冊のうち希望する1冊を新成人に贈る。	平成14年4月2日～ 15年4月1日までに 生まれた方	1月8日	町民センター		成人式において実施（欠席者には送付）

## 社会教育団体

### ■ 少年団体

○佐呂間町子ども会育成会連絡協議会

会 長 河 井 裕 樹

事務局 長 大 谷 宏 明

団 体 名	育成会代表者名	子ども会員数	育成会員数
はばたけ子ども会	森 要	26	20
とびたて子ども会	野 村 均	32	24
中学区子ども会	河 井 裕 樹	25	20
うきうき子ども会	松 久 亜衣加	31	24
富富士子ども会	名 雪 彰	22	10
若里子ども会	井 上 暢 浩	14	9
若佐子ども会	長 澤 耕之輔	34	24
計		184	131

### ■ 成人団体

○佐呂間町PTA連合会

会 長 若 狹 和 記

事務局 長 竹 村 文 宏

団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
若佐小学校PTA	長 澤 耕之輔	36
佐呂間小学校PTA	石 川 勝 義	126
浜佐呂間小学校PTA	若 狹 和 記	16
佐呂間中学校PTA	関 東 正 浩	120
佐呂間高校PTA	阿 部 真	84
計		382

### ■ 文化団体

○佐呂間町文化連盟

会 長 井 上 孝 一

事務局 長 大 宮 義 勝

区 分	団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
手 芸	蓮峰会	仲 川 蓮 子	5
華 道	華松園 (松月堂古流)	天 内 和 子	7
茶 道	仲川社中	小 林 久美子	5
歌 謡	カラオケ愛好会	大 澤 栄 子	6
歌 謡	カラオケあすなる	井 上 孝 一	6
歌 謡	カラオケ寿	村 岡 マチ子	13
歌 謡	はまなす	池 田 功	17
日 舞	若柳臣流・若寿会	若 柳 吉竹寿	27
ダ ン ス	社交ダンス同好会	日 沼 洋子 (代行)	14
ダ ン ス	キッズダンス	佐々木 由理佳	16
ハワイアン	フラの会	岩 館 誠 子	7
ハワイアン	レイアロハ・フラの会	押 野 恵	10
詩 舞	聖月流若佐	野 畑 ふみ子	3
大 正 琴	大正琴くるみ会	檜 垣 久美子	9
大 正 琴	藤朋流	杉 本 久美子	11
	計	15 団体	156

■ 体育団体

○ 佐呂間町スポーツ協会

会 長 尾 崎 実 事務局長 小 松 将 史  
副 会 長 木 村 功 事務局 中 原 央 人  
" 大 宮 克 美

団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間町野球協会	宇 野 利喜夫	野 村 均	115
佐呂間町剣道協会	窪 田 直 喜	幸 松 賢	18
佐呂間柔道協会	斉 藤 博 美	橋 本 英 夫	12
佐呂間町ソフトボール協会	大 宮 克 美	志 賀 克 浩	96
佐呂間町ブルームボール協会	室 井 久 志	中 原 央 人	49
佐呂間町ゲートボール協会	矢 吹 勇 吉	高 井 弘 子	27
佐呂間スキー協会	門 茂 治	山 本 幸 代	20
佐呂間ゴルフ同好会	船 木 邦 雄	水 田 勝 彦	45
佐呂間町ミニバレー協会	石 川 修	石 川 円	6
佐呂間パークゴルフ協会	荻 原 弘 純	荻 原 弘 純	101
佐呂間町サッカー協会	阿 部 真	阿 部 楓 馬	27
サロマテニス協会	北 野 宏 幸	山 原 光 広	20
佐呂間町卓球協会	渡 井 靖 夫	永 井 啓 子	11
佐呂間町陸上競技協会	尾 崎 実	大 谷 宏 明	
計 ( 14 団体)			547

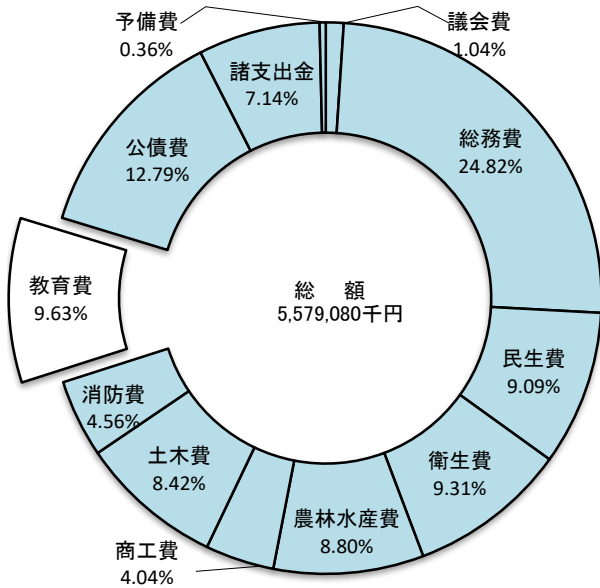
○ 佐呂間町スポーツ少年団本部

本 部 長 本 間 満  
副 本 部 長 石 川 勝 義  
事 務 局 長 吉 本 薫

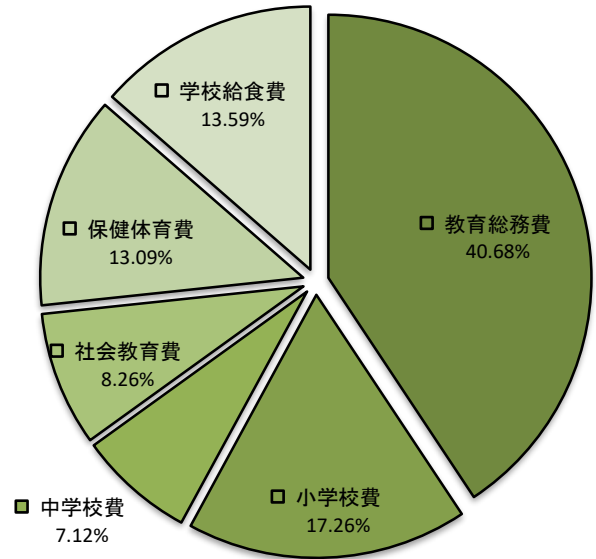
団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間野球スポーツ少年団	石 川 勝 義	石 川 勝 義	12
佐呂間柔道スポーツ少年団	尾 崎 実	尾 崎 実	12
佐呂間バレーボール少年団	吉 本 薫	吉 本 薫	15
佐呂間スピードスケート少年団	佐 伯 悟	佐 伯 悟	34
佐呂間サッカー少年団	森 要	野 村 林 太 郎	18
佐呂間ミニバスケットボール少年団	本 間 満	本 間 満	30
サロマジュニアラグビー少年団	尾 崎 実	尾 崎 実	0
計 ( 7 団体)			121

# 教 育 予 算

## ■令和4年度一般会計款別予算



## ■令和4年度教育費項目別割合



## ■教育費項目別予算額 (令和4年4月1日現在)

歳 出 予 算				財 源 内 訳			
項 目	目	予算額 (千円)	割合 (%)	国 道 支出金	地方債	その他	一般財源
教 育 総 務 費		218,631	40.68%	0	0	19,382	199,249
	教育委員会費	1,650					1,650
	事務局費	126,911				7	126,904
	教育財産管理費	67,363				2,720	64,643
	教育振興費	22,707				16,655	6,052
小 学 校 費		92,775	17.26%	7,606	2,300	17,000	65,869
	学校管理費	71,749		7,482	2,300	17,000	44,967
	教育振興費	21,026		124			20,902
中 学 校 費		38,296	7.12%	1,941	0	5,000	31,355
	学校管理費	27,560		1,852		5,000	20,708
	教育振興費	10,736		89			10,647
社 会 教 育 費		44,417	8.26%	0	0	4,689	39,728
	社会教育総務費	14,182				1,612	12,570
	町民センター運営費	16,784				77	16,707
	図書館費	13,451				3,000	10,451
保 健 体 育 費		70,361	13.09%	3,600	0	6,746	60,015
	保健体育総務費	22,133				4,589	17,544
	体育館費	6,120				122	5,998
	スキー場管理費	5,755				898	4,857
	武道館・温水プール費	36,353		3,600		1,137	31,616
学 校 給 食 費		73,043	13.59%	0	0	30,603	42,440
	学校給食費	73,043				30,603	42,440
合 計		537,523	100.00%	13,147	2,300	83,420	438,656
財源割合 (%)				2.45%	0.43%	15.52%	81.60%

# 教 育 施 設

## 施設の概要（令和4年5月1日）

### ■ 小学校

事 項 学校名	校地面積 (m <sup>2</sup> )	建 物 面 積 ( m <sup>2</sup> )						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐 呂 間 小 学 校	31,897	73	3,448		3,521	27	1,061	1,088
若 佐 小 学 校	39,998		1,726	276	2,002	15	717	732
浜 佐 呂 間 小 学 校	36,593		2,469		2,469		726	726
合 計	108,488	73	7,643	276	7,992	42	2,504	2,546

### ■ 中学校

事 項 学校名	校地面積 (m <sup>2</sup> )	建 物 面 積 ( m <sup>2</sup> )						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐 呂 間 中 学 校	33,970		3,454	169	3,623		1,052	1,052

### ■ 佐呂間町学校給食センター

建物面積 (m <sup>2</sup> )	設 置 年 月 日	所 在 地	備 考
889	平成19年3月22日	佐呂間町幸町1番地の1	平成19年4月9日から各学校へ供用開始

■ 社会教育施設

施設名	規模 (㎡)	設置年月	所在地	施設の概要
町民センター	2,321	S52.6	永代町	集会室、展示ロビー、研修室他
開拓資料館	110	S52.3	永代町	農具、漁具、生活用具 約200点展示
図書館	676	S58.12	永代町	児童館併設
体育館	2,020	S47.10	西富	アリーナ外
武道館・温水プール	3,663	H6.9	西富	武道館、温水プール、トレーニングルーム、ストレッチルーム、ランニングコース
浜佐呂間プール	534	H3.7	浜佐呂間	簡易プール
総合グラウンド	28,363	S47.10	西富	照明施設 8基 ソフトボール場 2面・野球場 1面
100年広場多目的広場	10,800	H6.5	西富	芝コート
100年広場パークゴルフ場	41,897	H6.5	西富	照明施設 2基 36ホール
100年広場ゲートボール場	1,437	H6.5	西富	3面
テニスコート	1,469	S55.8	西富	照明施設 1基 2面
浜佐呂間テニスコート	851	H7.12	浜佐呂間	照明施設 4基 1面
浜佐呂間パークゴルフ場	24,288	H10.2	浜佐呂間	18ホール
若佐ゲートボール場	2,304	H10.2	若佐	2面
若佐パークゴルフ場	17,868	H10.2	若佐	18ホール
若佐テニスコート	685	H10.2	若佐	1面
スキー場	93,140	S59.12	西富	ロッジ 照明施設 8基 搬器 72台

施設の利用状況（令和3年度）

■ 町民センター

区 分	集会室	控 室	調 理 室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	和 室 (1.2.3)	会 議 室	託 児 室	ロビー・ 2F展示室	合 計
利用件数	143	14	28	132	26	44	32	84	25	5	70	603
利用人数	6,260	73	211	1,769	199	548	162	626	154	20	386	10,408

■ 図書館

区 分	本 館	B M 車	若 佐 コミセン	浜佐呂間	学 校 巡回文庫	団体貸出	合 計
貸出冊数	28,610	2,245	86	40	9,150	9,209	49,340
貸出人数	6,422	768	28	13	473		7,704

■ 開拓資料館

利用人数	利用日数
21	8

■ 武道館・温水プール

区 分	武 道 館	温 水 プ ー ル	トレーニング ルーム	研 修 室 会 議 室	和 室	ランニング コース	そ の 他	合 計
利用人数	4,795	4,611	4,661	472	43	1,140	1,428	17,150

■ 体育館

利用人数	利用日数
8,794	285

■ テニスコート

区 分	佐 呂 間	浜佐呂間	若 佐	合 計
利用人数	284	0	1	285
利用日数	71	0	1	72

■ スキー場

利用人数	利用日数
39,024	60

■ 100年広場

区 分	ハ ー ク ゴルフ場	ケ ー ト ホール場	多 目 的 広 場	合 計
利用人数	906	990	3,690	5,586
利用日数	198	66	116	380

■ 総合グラウンド

区 分	ソ フ ト ホ ー ル 場	野 球 場	フ ー ル ー ム ホ ー ル	合 計
利用人数	1,130	1,965	235	3,330
利用日数	27	73	11	111

■ 若佐ゲートボール場

利用人数	利用日数
1,188	66

■ 浜佐呂間プール

利用人数	利用日数
283	32

■ 学校開放

区 分	佐呂間小	若 佐 小	浜佐呂間小	佐呂間中	合 計
利用人数	1,877	0	0		1,877
利用日数	96	0	0		96

■ パークゴルフ場

区 分	若 佐	浜佐呂間	合 計
利用人数	483	144	627
利用日数	198	198	396



## 教育関係委員名簿

### ■ 教育委員（5名）

氏名	任期	備考
仲川 倫 則	令和1年10月1日 ～ 令和4年9月30日	教育長
平戸 鉄 也	令和1年10月14日 ～ 令和5年10月13日	教育長職務代理
内藤 宏 文	平成30年10月14日 ～ 令和4年10月13日	
江刺 徳 明	令和2年10月14日 ～ 令和6年10月13日	
市村 由 佳	令和3年10月14日 ～ 令和7年10月13日	

### ■ 社会教育委員（18名以内） 任期 令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日

氏名	備考	氏名	備考
真如 智 子	委員長	室井 公 裕	
尾崎 実	副委員長	室井 隆 治	
川又 聖 子	副委員長	佐々木 理 有	
草野 宏 繁		檜 垣 久美子	
村岡 大 輔		阿 部 夏 希	
西岡 理 恵		三島木 羽由希	
今井 健 晴		田 宮 拓 郎	
佐藤 優 紀		本 間 恵 奈	
船木 桂 輔		住 吉 浩 実	

### ■ スポーツ推進委員（8名以内） 任期 令和3年4月1日 ～ 令和5年3月31日

氏名	備考	氏名	備考
室井 久 志	委員長	住 吉 健 司	
佐伯 優 一	副委員長	山 崎 亜 弥	
柏尾 郁 未		田 宮 奈 々	R4.5.1より
宇野 優 利		大 城 愛 梨	

■ 佐呂間町教育委員会事務局の機構（令和4年4月1日現在）

( ) 兼務職員   再任用職員

【 】 会計年度任用職員

教育長  
仲川倫則

管理課長 西村 雅人  
課長補佐 弘内 裕子

TEL 2-1294  
FAX 2-1131

教育相談員

【野村 克仁】

語学指導助手

【ザッカーリー・マーシュ】

総務係長 西村 安史 — 川村 諒太

教育委員会議、公印の管守、典礼・表彰、規則・令達、学校の設置・廃止、文書の收受・発送、職員の任免・その他人事・福利厚生・保健衛生、学級編成・教職員の配置、教育に関する調査、教職員の任免、その他人事・給与・分限・懲戒・服務・免許状・旅費、スクールバス、他の係に属さない事務  
学校整備、教育財産管理、学校施設の維持管理、教員住宅の入退去・維持管理、物品管理、学校給食、奨学資金、その他学校管理に関する事

学校教育係長 (弘内 裕子) — (川村 諒太)

教職員の研修、学齢児童生徒の就学・児童生徒の入学・転学・退学、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、通学区域、学校の教育課程・学習指導・生徒指導・職業指導、就学奨励、教科書・その他教材、要保護・準要保護児童生徒の認定等、学習効果の評価、教職員及び児童生徒の福利厚生・保健衛生、児童生徒の災害、遠距離通学、学校経理、その他学校教育に関する事

学校給食センター所長

(西村 雅人) —

学校給食係長 (西村 安史) — 久米 修一

栄養教諭・管理栄養士 大城 愛梨

TEL 5-2555  
FAX 5-3950

学校給食センターの管理運営、諸業務、施設の点検・整備

社会教育課長 大谷 宏明  
課長補佐 山原 光広

TEL 2-1295  
FAX 2-1131

社会教育係長 (山原 光広) — 佐藤 陽香 ・ (中原 央人)

北野 宏幸 ・ 大谷 昭文

社会教育委員、青少年教育・婦人教育・成人教育・高齢者教育、青少年団体・文化団体の育成指導、社会教育施設の整備・管理運営、文化財の保護、郷土資料の収集保存管理、成人式、生涯学習、その他社会教育に関する事

社会体育係長 小林 憲治 — 中原 央人 ・ (佐藤 陽香)

(大谷 昭文)

社会体育事業、社会体育施設の整備・運営管理、スポーツ推進委員、社会体育団体の育成指導、学校開放事業、地域体育の振興、その他社会体育に関する事

図書館長 林 洋樹

TEL 2-2215  
FAX 2-2632

管理奉仕係長 新居 智之 — 桜井 真莉菜 ・ 【渡辺 晶子】

公印の管守・文書の收受・発送・整理・保存、図書館協議会、物品の出納管理、図書資料の発注・収集・整理保存、図書資料の分類配列・目録の整備、参考業務・読書相談、図書館奉仕に関する事

武道館・温水プール館長

(大谷 宏明)

副館長 (山原 光広)

TEL 2-2261  
FAX 2-1461

管理指導係長 前 典宏 — 佐藤 大輔 (中原 央人)

(大谷 昭文)

公印の管守、公文書の收受・発送・整理・保存、物品の出納管理、施設の使用許可、施設の整備・維持管理、体育・スポーツ・レクリエーション活動普及・調査研究、資料の収集・整理保存・活用、各種スポーツの適正・健康・体力相談、施設利用者に対する事故防止の監視、目的を達成に必要な事業

## 佐 呂 間 町 民 憲 章

わたくしたちは、森と湖のきびしい大自然の中で開拓した先人のたくましい精神を受けつぐ佐呂間町民であることを誇りとしています。

わたくしたちは、自然の恵みに感謝しながら生きがいのある生活確立し、希望と自信をもって、ひとりひとりの幸せと未来に伸びゆく、豊かで明るいまちをつくるため、この憲章を定めます。

わたくしたち佐呂間町民は、英知と友愛と勇気をもって、

- 1 自然の恵みを生かし、美しく住みよいまちをつくりまします。
- 1 進んできまりを守り、明るく平和なまちをつくりまします。
- 1 たがいに助け合い、あたたかく幸せなまちをつくりまします。
- 1 仕事に誇りをもち、楽しく豊かなまちをつくりまします。
- 1 若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくりまします。

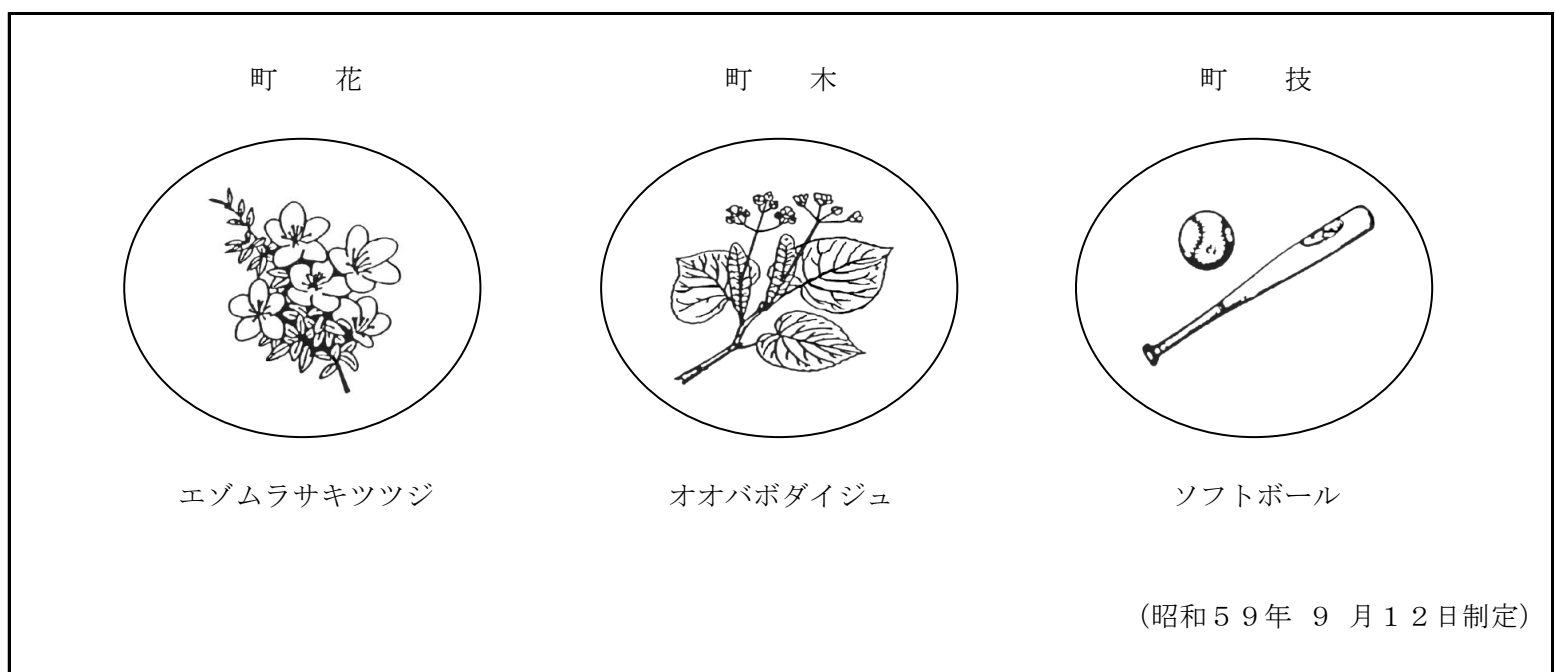
(昭和50年12月11日制定)

## 生涯スポーツの町宣言

わたくしたち佐呂間町民は、生涯を通じて、スポーツを愛したくましい心と体を鍛え、健康で明るい豊かな郷土を築くため「生涯スポーツの町」を宣言します。

- 1 スポーツを愛し、豊かな心と健やかな体をつくりましましょう。
- 1 スポーツに親しみ、いつまでも活力ある生活を送りましましょう。
- 1 スポーツを楽しみ、ふれあいと友情を深めましましょう。
- 1 スポーツの輪を広げ、明るく住みよいまちをつくりましましょう。

(昭和62年5月7日宣言)



「令和4年度 佐呂間町教育の概要」

佐呂間町教育委員会 管理課総務係

TEL : 01587 (2) 1294

FAX : 01587 (2) 1131

E-mail : [kyoui@town.saroma.hokkaido.jp](mailto:kyoui@town.saroma.hokkaido.jp)